ヌエバでチャンピオンを目指せ!!

国際ハンドボール連盟公認球

日本リーグ唯一の公式試合球

全日本大学選手権（インカレ）
唯一の公式試合球

日本ハンドボール協会検定球

本大会試合球

国際ハンドボール連盟公認球
日本ハンドボール協会検定球

32H300WRB　ヌエバ

●手縫い●天然皮革●3号球●32枚パネル●白×赤×青×黒

国際ハンドボール連盟公認球
日本ハンドボール協会検定球

32H200WRB　ヌエバ

●手縫い●天然皮革●2号球●32枚パネル●白×赤×青×黒

第27回日本ハンドボールリーグプレーオフ開催せまる！！

日本ハンドボールリーグ委員会委員長　川上憲太

いよいよ第27回日本ハンドボールリーグのトップチームを決定する日本ハンドボールリーグプレーオフ大会が目前にせまりました。今年も東京・駒沢体育館で３月21・22・23日の連休に華々しく開催されます。

（１）日本のトップチームを決定する大会

アテネオリンピックアジア予選を今年の９月にひかえ、国内のビッグ大会としては最後のトップゲームとなります。本大会に出場するたくさんのナショナル選手、又候補選手は、この後いよいよ悲願のアテネオリンピックアジア代表権獲得の為のスケジュールに入ります。

又、各チームとも世界トップクラスの実力を誇る外国人プレーヤー共々、今年度最高の激しく、華麗なゲームをファンの皆様の前に展開してくれるものと思います。

皆様是非ご期待下さい。そして会場に足を運んでライブでお楽しみ頂きたいと思います。

（２）男子・女子決勝戦をずらす

本年度は連日新聞等で扱って頂きたく、マスコミの方のアドバイスもあり、男子・女子の決勝をずらしました。３月22日（土）は女子決勝、３月23日（日）は男子決勝となります。皆様におかれましては連日会場にお越し頂きたくお願いします。

（３）今年もテレビ中継

今年も３月22日（土）３月23日（日）に神奈川テレビ（TVK）にてテレビ放映を行います。

３月18日には東京にてマスコミ各社を迎えて、プレーオフ大会の記者発表を行います。各出場チームの監督の抱負・注目選手等の発表を行い、当日の取材・記事への取り上げについてお願いをします。

（４）観客動員にご協力を

今年日本リーグは１番の課題として、レギュラーシーズンの観客動員に力を入れてきました。昨年９月20日には、各チームの部長・監督を集めて「チームマネジメントシンポジウム」を開き、たくさんの課題を検討しました。その中で観客動員を一番のテーマとしてかかげ、努力しております。まさにその集大成がプレーオフ大会です。どうぞ本誌をお読みの皆様、誘いあってトップゲームのご観戦に足を運んでください。（入場前売券は、チケットぴあでおもとめ頂けます）

（５）各界よりたくさんの著名人を招待

昨年の大会には故・高円宮殿下・同妃殿下ご一家にご観戦頂き、大変大会が盛り上がりました。今年もスポーツ界のたくさんの著名人又協賛会社のオーナーの皆様、スポーツ行政にかかわられる皆様をたくさんお呼びして、ビッグゲームを堪能して頂きたいと思っています。皆様、楽しみにしていてください。もしかしたらあのビッグネームの方も会場へ来て頂けるかもしれません。（交渉中であります）

（６）ファンサービス

本大会ではアテネオリンピックアジア予選応援グッズが会場で販売されます。その他出場各チームより、又協賛スポンサー各社より提供品グッズ等の配布を考えております。

（７）エキジビション

昨年は故・高円宮殿下が出場されて行われたフットサル競技が大変観客の皆様にも好評でありました。故・高円宮殿下を偲んで、今年もフットサル連盟のご厚意でエキジビションゲームが行われます。ハンドボールが発展していく為に、多くの他競技団体との連携をもってお互いの協力・理解を深めていく意味もあります。

（８）日本リーグの今後の課題

この様に皆様の応援と関係者の深いご理解ご協力により、日本のハンドボールのトップリーグが毎年展開されておりますが、日本経済の長引く不況による経済界の急速な変革、一方では少子化、教育制度等に見られる社会現象等の変化が、日本スポーツ界にたくさんの課題を投げかけております。

その中にあり、日本ハンドボール協会はもとより、日本リーグもたくさんの課題に直面しております。

日本リーグは（ⅰ）スポーツ文化として地域社会と融合したハンドボール振興（ⅱ）オリンピック、世界選手権など国際レベルでの競技力向上（ⅲ）次世代の子供達への愛のあるハンドボールの環境づくりの３つの理念をかかげてスタートしております。そのどれをとっても課題が山積みです。ここで「新しいリーグのあり方・運営方法」の検討が最重要と考え、具体策の検討に入っています。その一端は、「新しいリーグの活性化」「チームマネジメントの確立」「ナショナル選手強化への具体策」「地域との連携のあり方」「小学生チームの育成」「東アジアクラブ選手権開催」等であります。

第28回大会からは、現状に即した中にも思い切った考え方で「新しい日本リーグ」を作っていかねばならないと考えております。皆様のご理解ご協力をお願いします。

プレーオフ日程

日付	時間	試合
平成15年３月21日（金）	17：00～	女子準決勝
平成15年３月22日（土）	14：00～	男子準決勝
	16：00～	女子決勝
平成15年３月23日（日）	14：00～	男子決勝

※ＴＶＫ（テレビ神奈川）録画放映時間につきましては、32頁の「行事予定」を御覧下さい。

第11回 JOCジュニアオリンピックカップ・ハンドボール大会を終えて

大阪ハンドボール協会理事長　中　村　博　幸

本年度より㈶日本オリンピック委員会、㈶日本ハンドボール協会の主催とし地元㈶堺市教育スポーツ振興の共催を得て、新たな出発の門出を迎えました。回を重ねる毎に発展の一途を歩み続けている本大会、今年も将来の日本ハンドボール界を背負って立つ、中学生の逸材が、大阪の地に集結し、２日間にわたる熱戦をくり広げました。

今回は開会式に全日本女子チームのメンバーも参加し、華やかさを醸しだしてくれました。また開会式後には、全日本女子の西窪監督、黄コーチの指導のもと、参加各チームの代表選手達との熱のこもった練習会が行われ、大会の雰囲気を盛り上げてくれました。約１時間しか時間がとれなかったのは、非常に残念でしたが…。

全日本チームのメンバーにとっても中学生を教えることによって、自分たちも初心に戻り、より一層のファイティングスピリッツを持つこができただろうし、中学生にとっても、雲の上の存在である全日本選手のフットワーク・パスワーク・シュート等々を目の当たりに見、一緒にプレーを体験できたことは、今後自分が進むであろうハンドボール人生の糧となることと思います。

中学生に夢を与えるイベントとして行われたこの企画が、全日本のメンバーに“喝”を入れ、前進してくれることを強く望んでおります。

大　会　総　括

男子は今大会はスケールの大きな選手が多く、どのチームも、高校でも通用しそうなエース級の選手をそろえ、レベルの高い好ゲームが数多くみられた。

中でも、沖縄対愛知の決勝は前評判の高いチーム同士の対戦で、タイムアップ終了まで目の離せない激戦となった。

荒削りながら力強さのある沖縄、堅守と試合運びにうまみのある愛知とのゲームは、前半流れをつかんだ沖縄が、５点のリードを広げ折り返した。後半に入り固さのほぐれた愛知が、徐々に点差を縮め、残り１分で同点に追いつき、試合の流れは愛知に傾きかけたが、直後に沖縄は７ｍＴを冷静に決め、猛追を振り切った。

特に沖縄の棚原・東長濱、愛知の樋口は超中学校級のレベルで、今すぐにでも高校で活躍できそうな好素材であり、将来の日本ハンドボール界を担う選手として順調に育ってもらいたいと強く願います。

また、敗れはしたが、沖縄を最後まで苦しめた東京の洗練された試合運びのうまさや、初のベスト4進出の岩手の健闘は特筆ものである。

女子は、夏の全国中学生大会と同じ顔ぶれで東京対大阪の東西決戦となった。連続優勝を狙う東京とリベンジにかける大阪。試合は大阪の先取点で始まるが、慌てることなく着実にセットのコンビプレー得点を重ねた東京が主導権を握った。大阪もロングシュートの連打で反撃するが堅い守りに阻まれ逆に速攻を許してしまい、後半なかばより余裕の展開で進めた東京が大阪を寄せつけず、見事2年連続の優勝を果たした。東京は予選リーグを含め、決勝までの4試合すべて30点以上の攻撃力と的確な判断で先読みできるディフェンス力を兼ね備えた素晴らしいチームである。

一方、大阪は予選リーグで1分けするなど、苦しい戦いの連続で、しかも多くのケガ人を抱えての正に満身創痍の決勝進出であったが、地元の大声援を受け果敢に攻め続けるプレーは称賛に値する。両チームに代表されるように今年の女子は、決して恵まれた体格ではないが、基本に忠実でよく洗練されており、中学生らしくはつらつとした好チームが多かった。

次年度より出場枠の拡大

2003年度より、男女とも出場枠を12チームから16チームに増やし、中学校ハンドボール界に活況の輪を広げる準備を進めています。

ＪＯＣ及び日本協会からは、さらに出場枠の拡大を望まれておりますが、年末の大会ゆえに、開催協会としては、次年度から12／25～12／28にするのが現段階としては精一杯で、予算・日程・試合数等々の、いくつかの難題をクリアできれば、出場枠の拡大も可能かと思われます。今後も前向きに検討していく次第でございます。今年も、会場立ち見でいっぱいになり、観客の皆様方の大声援の中無事終えることができて、役員一同胸をなでおろしております。

最後になりましたが、この大会開催に対し、暖かいご支援を賜りました各方面の関係者の皆様方に心から敬意を表しますとともに、選手諸君の今後のハンドボール界でのご活躍を祈念いたしております。次年度もさらに成長した大会にしたいと思いますのでよろしくお願い申し上げます。

男子予選リーグ（堺市家原大池体育館）

Aブロック

チーム	得点	前半 後半	得点	チーム
沖縄県	33	17－13 16－14	27	兵庫県
兵庫県	36	17－ 9 19－13	22	北海道
沖縄県	49	23－ 5 26－ 9	14	北海道

決勝トーナメント出場チーム　Aブロック・沖縄県選抜

Bブロック

チーム	得点	前半 後半	得点	チーム
三重県	19	9－ 7 10－10	17	香川県
香川県	12	6－18 6－17	35	東京都
三重県	24	11－19 13－18	37	東京都

決勝トーナメント出場チーム　Bブロック・東京都選抜

Cブロック

チーム	得点	前半 後半	得点	チーム
大阪府	24	8－13 16－12	25	岩手県
岩手県	30	15－10 15－16	26	山口県
大阪府	27	12－ 8 15－20	28	山口県

決勝トーナメント出場チーム　Cブロック・岩手県選抜

Dブロック

チーム	得点	前半 後半	得点	チーム
群馬県	30	19－11 11－18	29	富山県
富山県	21	9－22 12－11	33	愛知県
群馬県	24	12－14 12－18	32	愛知県

決勝トーナメント出場チーム　Dブロック・愛知県選抜

女子予選リーグ（堺市金岡公園体育館）

Aブロック

チーム	得点	前半 後半	得点	チーム
東京都	31	13－ 4 18－ 8	12	三重県
三重県	36	14－10 22－ 6	16	北海道
東京都	40	22－ 5 18－11	16	北海道

決勝トーナメント出場チーム　Aブロック・東京都選抜

Bブロック

チーム	得点	前半 後半	得点	チーム
兵庫県	14	7－ 6 7－10	16	山口県
山口県	26	14－11 12－ 8	19	大分県
兵庫県	27	13－ 6 14－14	20	大分県

決勝トーナメント出場チーム　Bブロック・山口県選抜

Cブロック

チーム	得点	前半 後半	得点	チーム
愛知県	16	8－ 3 8－ 3	6	香川県
香川県	14	9－ 7 5－14	21	岩手県
愛知県	15	7－ 4 8－ 6	10	岩手県

決勝トーナメント出場チーム　Cブロック・愛知県選抜

Dブロック

チーム	得点	前半 後半	得点	チーム
石川県	13	6－ 9 7－ 8	17	群馬県
群馬県	14	6－10 8－15	25	大阪府
石川県	20	8－11 12－ 9	20	大阪府

決勝トーナメント出場チーム　Dブロック・大阪府選抜

第11回JOCジュニアオリンピックカップハンドボール大会　試合結果

決勝トーナメント（堺市家原大池体育館）
（女子準決勝のみ金岡公園体育館）

男　子

A．沖縄県選抜
B．東京都選抜
C．岩手県選抜
D．愛知県選抜

優勝：沖縄県選抜

女　子

A．東京都選抜
B．山口県選抜
C．愛知県選抜
D．大阪府選抜

優勝：東京都選抜

男　子	チーム	得点	前半 後半	得点	チーム
準決勝	沖縄県	39	18－18 21－16	34	東京都
〃	愛知県	27	15－10 12－ 8	18	岩手県
決　勝	沖縄県	31	19－14 12－16	30	愛知県

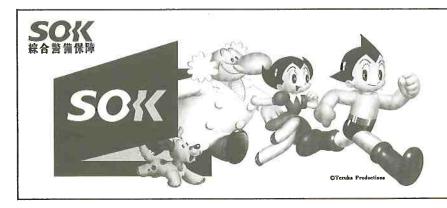
女　子	チーム	得点	前半 後半	得点	チーム
準決勝	東京都	36	21－ 6 15－10	16	山口県
〃	大阪府	17	7－ 5 10－ 8	13	愛知県
決　勝	東京都	28	11－ 8 17－10	18	大阪府

順　　位

男　子		女　子	
優　　勝	沖縄県選抜	優　　勝	東京都選抜
準優勝	愛知県選抜	準優勝	大阪府選抜
第三位	東京都選抜	第三位	山口県選抜
〃	岩手県選抜	〃	愛知県選抜

※男子の沖縄県選抜は２年ぶり
　２回目の優勝
※女子の東京都選抜は２年連続
　２回目の優勝

〔男　子〕　表彰選手　〔女　子〕

	男子		女子
オリンピック有望選手	篠崎　達也（群馬県富岡東中） 棚原　良（沖縄県浦西中）	オリンピック有望選手	小管　由貴（群馬県富岡東中）
最優秀選手	東長濱　秀希（沖縄県浦西中）	最優秀選手	溝井　友貴（東京都鹿骨中）
優秀選手ＧＫ	工藤　義博（岩手県松園中）	優秀選手ＧＫ	田口　舞（愛知県宮中）
ＣＰ	白倉　直弥（東京都横川中）	ＣＰ	西村　友理香（山口県岩国中）
〃	畑山　政也（東京都鹿骨中）	〃	下野　真由子（東京都鹿骨中）
〃	樋口　睦（愛知県汐路中）	〃	里見　加代子（東京都鹿骨中）
〃	菊池　宜彦（愛知県富木島中）	〃	国保　美保子（東京都平山中）
〃	熊元　康則（兵庫県横尾中）	〃	中久保　裕美（大阪府高石中）
〃	橋本　隆介（山口県末武中）	〃	渡辺　麻代（大阪府東生野中）

2003年フランス遠征を終えて

全日本男子ハンドボールチーム監督　田　口　　隆

1 遠征実施期間等

期　　間：2003年1月6日～2003年1月19日
場　　所：フランス（Metz/Aix en Provence）
対戦相手：フランス・ドイツ・チュニジア（Metz Arenas Tournament 出場）
Nimes（フランスリーグ）
Provence地方選抜
Greenland National（世界選手権出場）
……………………………………合同トレーニング

2 今遠征の目的・目標

アジア大会時からの反省を元にオフェンス戦術の再確認の実施を行うことが当初の最大の目的であったが、バックプレーヤー陣が相次ぐ負傷により参加できない状態であったため、急遽、新しいプレーヤーの発掘と育成に変更した。また、従来の６－０ＤＦ以外のディフェンスシフトでの可能性について検討することも目的の一つであった。具体的には、動きのある選手による３－３ＤＦや変則的な５－１ＤＦ等が挙げられる。

3 選手構成について

来年度の６月からの集中強化期間に向けてのメンバーのリストアップをするうえで、アジア大会出場メンバーを中心に、アジア大会前の強化期間でナショナルチームに帯同したバックプレーヤーと今シーズンＪＨＬで活躍している選手を選考した。

ゴールキーパー陣は四方・坪根のアジア大会出場メンバーに加えて３人目のゴールキーパーの選択として、高木(大同特殊鋼）を選出したものの、全日本総合時の負傷により辞退したため、吉田（ホンダ熊本）を起用。左サイドは、松林・下川に加え、バックプレーヤーとしてもプレー出来る谷口（ホンダ）を加えた。ポストは池辺に加え、ＪＨＬで活躍した東（大崎電気）を起用。右サイドには内田をスペインから呼び寄せると共に、ＪＨＬで安定した活躍を見せる広政（ホンダ）とジュニアチームから加藤（トヨタ車体）を選出した。広政についてはワンポイントでのバックプレーヤーとしてのプレーを期待することもあった。バックプレーヤー陣では佐々木・茅場のアジア大会出場メンバーに加え、中川・田場・宮崎・古家の故障による不参加もあり、加藤(ZARAGOZA)を急遽スペインから、ドイツ２部リーグでプレーする植松（DELITZSCH）も呼び寄せた。また、太田（大崎電気）を選出した。ディフェンスの中心として期待し、羽賀・永島のアジア大会メンバーを選出した。結果的にアジア大会出場メンバー10名とその他８名という構成となった。

4 成果と課題

【ディフェンス】

６－０ＤＦにおいて、真ん中を守る池辺・羽賀のコンビネーション及び、個々のスピード・コンタクトでのパワー不足により、フランス・チュニジアの大型のバックプレーヤーによるシュートやポストシュートを防ぎきれなかった。また、サイドプレーヤーのフォロー時の思い切った踏み込みがなく、カットインに持ち込まれたなど、チーム戦術であるサイドでのＧＫのシュート阻止まで持ち込むことが出来なかった。ＧＫ四方・坪根がサイドシュートを阻止しているにもかかわらず、谷口・太田・内田においては徹し切れなかったことが残念であった。

今回の試みとして行った３－３ＤＦに関しては、松林・永島・佐々木についてはそれぞれに積極的にチャレンジし、効果的なプレーが出来た。しかし、フルバックの池辺は待ちのプレーが多く、ポストに簡単にボールを入れられたり、相手に簡単に振り切られるなど課題を残した。しかし、池辺の代わりにそのポジションに入った東が所属チームでもディフェンスでプレーする機会が少ないものの、持ち前の身体的なパワーを充分に発揮し、積極的なプレーが出来、今後のディフェンスでの可能性を示した。６－０・３－３ＤＦ双方において自分のエリア内におけるコンタクトのタイミングを確実に身につけていかなくてはならない。またフィジカル面での向上も必要である。

【オフェンス】

バックプレーヤー陣の得点力不足が大きな課題であった。茅場はケガからの復帰過程でフィジカル的な回復が充分でなかった。太田についてはスピードとリストの利いたシュート力があるものの、シュート場面を創り上げるための相手との間合い・ポストを利用しての場面創出というような部分で課題が多かった。加藤（圭）については、ポスト・他のバックプレーヤーとのコンビネーションを使い活路を見い出したものの、大型のＤＦに対してはシュート力不足であり、ＤＦに近いところでのプレーが多くスピードを活かしきれなかった。佐々木については今回の遠征についてはコンスタントにＤＦとの距離を巧みに保ち、得点をあげた。他のバックプレーヤーがシュートを打てず、パッシブの予告が出た後に苦しい場面でシュートを打つ場面があり、シュート数が増え、確率では40％ほどであったが、中川・宮崎・野村などの選手と噛み合えば確率的には上昇するものと思われる。

サイドプレーヤーについては、大きなゴールキーパーに対峙したときジャンプ力を活かしたシュートを打ち切れず、腕が下がった状態で足元を打つシュートなど、ゴールキーパーからして読みやすいシュートが多々あり、成功に至ら

なかった。

ポストプレーヤーについては、池辺はディフェンスとのコンタクトの場面で体勢を崩されたり、ボールをキープ出来ずチャンスを活かせなかった。今後、フィジカルのコンディションを高めていく必要が大いにある。初参加の東はフィジカルの強さから大型選手との競り合いに強く、シュートチャンスを作った。今後、ブロックプレーの正確さとコンビでのプレー精度が上がることにより戦力として期待できる。

5 試合結果

TOURNOI DES ARENES DE METZ

■ 1月9日(木)

日　本　14（10−15 / 4−14）29　フランス

［戦評］フランスの攻撃からゲームがスタートした。日本は個人での弱さがあるため、組織的な防御をするべく6人が連携を取って固まりになってボールのところを厚く守ることに集中し、ディフェンスに入った。先制点はフランスAnquetilがサイドから決める。それに対抗し日本も松林の速攻で応戦する。その後フランスはサイド・バック・ポストとバランスよく得点を加えていくのに対し、日本は茅場・佐々木のバックからのシュートで得点をあげ、18分まで5−8とフランスのリードで試合が進む。前半終了までにフランスは速攻を織り交ぜながら着実に得点を挙げるのに対し、日本は池辺に変わって投入した東がポストでよい動きをし、7mスローを誘うなど、右サイドの広政もサイドからのシュートやカットインなどで得点を挙げ、終了直前の佐々木のシュートが決まり、10−15で折り返す。

後半立ち上がりから、日本のミスから速攻につなげられ、立ち上がり10分で5点を連取され、10−20と大きくリードを許す。その後も加藤（圭）のカットインと佐々木の3得点の4得点しかあげられず、フランスには速攻を許し、14−29の大差で敗れる。

佐々木が1試合を通し、ディフェンスとの間合いを計り、良い距離を保ち、シュートを放った事・池辺に変え、投入した東がフィジカル面での強さを発揮し、前半においてよい働きをした。その反面、サイドシュートにおいては8射中1得点と、特に後半でのサイドでのチャンスにおいて谷口・内田で無得点であった。

［得点者］佐々木…6点、茅場…3点、広政…2点、
松林…1点、加藤（圭）…1点、東…1点
（ベンチ登録16名…下川を除く）

☆その他の試合

ドイツ　27（12−13 / 15−13）26　チュニジア

■ 1月10日(金)

日　本　18（11−15 / 7−14）29　ドイツ

［戦評］日本は大型のドイツに対し、3−3ディフェンスでスタート。ドイツに先制点を許したものの、永島の速攻からのシュートで反撃する。GK四方の攻守と佐々木の4得点で、10分まで5−5のタイスコアーで試合が進む。10分過ぎからドイツも日本のアグレッシブなディフェンスに対し、サイド・ポストなどの選手がボールのない状態でディフェンスを振り切り、5連続得点を挙げ、日本を引き離しにかかる。しかし、日本も佐々木・松林で3連続得点を挙げ必死に追いすがる。その後も一進一退の展開で前半残り4分まで11−13とドイツがリードし、終盤を迎え、終了間際にドイツが2点を追加し、11−15で前半を折り返す。

後半立ち上がりも、この日好調の佐々木の3得点で、14−17と追撃する。このあたりから、ディフェンスで押し込まれるケースが出始めた。15分、内田の7mTが決まり16−20とするが、その後得点が伸びず、広政・東の散発での得点しかあげられず、また、退場者が続出した。最後はオフェンスでも足が止まり、18−29で敗れる。

試合に敗れたものの、前日に続き佐々木がドイツの2メートルを超える高いディフェンスに対し、変化のあるシュートで得点を挙げたことや、60分間は難しいものの、今後ゲームの流れの中で、3−3のシフトが使える可能性を見出せたことが良かった。反面、バックプレーヤーでコンスタントにシュートを狙えるのが佐々木だけという状態では苦しい展開であった。

［得点者］佐々木…9点、茅場…2点、松林…2点、
広政…1点、内山…1点、永島…1点、
東…1点、太田…1点
（ベンチ登録16名…下川を除く）

☆その他の試合

フランス　34−22　チュニジア

■ 1月10日(金)

日　本　16（7−11 / 9−17）28　チュニジア

［戦評］谷口の速攻での先制ゴールで試合が始まった。ディフェンスも6人が揃って足がよく動き相手の攻撃を阻止し、内田のロングシュートも決まり、2−0と好スタートをきる。20分まで5−5のロースコアーで試合が進むものの、日本は相手の執拗なプレスディフェンスを攻め倦み、なかなか得点を奪えない状況が続いた。その後ディフェンスでも疲れが見え始め、相手のロングシュートにつめ遅れる形で得点を許し、前半を7−11とリードを許し折り返す。

後半に入り、広政の小気味よいミドルシュートが入るもののポストを押さえられ、バックプレーヤーからのチャンスを活かせず苦しい展開が続く。ディフェンスシフトを3−3に変え、流れを変えるように試みたが、前日のドイツ戦とは違い、引いて守る場面が多く、相手のリズムを狂わすに至らなかった。途中からは一方的な展開となり体力的にも消耗した試合であった。本来の勝つパターンであるディフェンスでの勝負強さに欠けたことと、センタープレーヤーとポストプレーヤーが機能しなかったことが大きな敗因であった。

［得点者］広政…4点、佐々木…3点、内田…2点、
谷口…2点、池辺…1点、加藤（圭）…1点、
東…1点、太田…1点、加藤（久）…1点
（ベンチ登録16名…下川・茅場を除く）

☆その他の試合

フランス　25−24　ドイツ

最優秀選手　GILLE Bertrand（FRA）
最優秀ＧＫ　RAMOTA Christian（GER）
得点王　佐々木教裕
フェアープレー　ＦＲＡ
１位　ＦＲＡ　２位　ＧＥＲ

■ 1月14日（火）

トレーニングマッチ

日本 17（8－8 / 9－9）17 ＮＩＭＥＳ

［得点者］松林…３点、広政…３点、加藤（圭）…３点、佐々木…２点、加藤（久）…２点、太田…２点、東…１点、池辺…１点
（ベンチ登録16名…茅場を除く）

■ 1月15日（水）

AIX EN PROVENCE TOURNAMENT

日本 21（10－11 / 11－8）19 ＣＰＡ

［得点者］佐々木…８点、松林…３点、谷口…３点、池辺…２点、太田…２点、加藤（久）…１点、広政…１点、羽賀…１点（ベンチ登録15名…茅場を除く、加藤（圭）はスペインへ戻る）

■ 1月16日（木）

AIX EN PROVENCE TOURNAMENT

日本 20（9－9 / 9－9 / (延長) 1－0 / 1－4）22 ＮＩＭＥＳ

［得点者］佐々木…６点、松林…３点、東…３点、下川…２点、羽賀…２点、谷口…１点、加藤（久）…１点、広政…１点、永島…１点
（ベンチ登録15名…茅場を除く）

第１位　ＮＩＭＥＳ　**第２位　日本**
第３位　Greenland　第４位　ＣＰＡ

フランス遠征メンバー

2003.1.6～19

監督	田口隆	㈶日本ハンドボール協会
コーチ	フレデリック・ヴォル	㈶日本ハンドボール協会
トレーナー	赤尾和彦	トレーナーズ・フォー・アスリート
トレーナー	高野内俊也	日本ＩＢＭ

No.		氏名	所属先名	生年月日	身長	体重	出身大学	出身高校	出身地
1	GK	坪根敏宏	湧永製薬	1973. 6. 4	187	92	福岡大	久留米工附	福岡県
12	GK	四方篤	ホンダ	1972. 5. 12	190	95	大体大	北陽高	大阪府
16	GK	吉田耕平	ホンダ熊本	1978. 4. 21	185	85	大体大	北陽高	大阪府
2	CP	松林克明	大同特殊鋼	1977. 10. 23	181	73	日体大	桃山学院	大阪府
3	CP	内田雄士	ZARAUTZ(スペイン)	1981. 6. 27	182	73	—	熊本市立商	熊本県
4	CP	佐々木教裕	ホンダ	1974. 4. 8	192	99	日体大	拓大第一	東京都
5	CP	植松伸之介	DELITZSCH(ドイツ)	1975. 8. 20	181	80	順天堂大	横浜商工高	神奈川県
6	CP	池辺健二	ホンダ	1974. 9. 19	192	97	大体大	久留米工附	福岡県
7	CP	広政宜孝	ホンダ	1973. 7. 6	178	75	筑波大	下松工高	山口県
8	CP	下川真良	湧永製薬	1976. 6. 23	171	65	大体大	北陽高	京都府
9	CP	永島英明	大崎電気	1977. 3. 24	188	85	大体大	此花学院	大阪府
11	CP	加藤圭介	ZARAGOZA(スペイン)	1974. 12. 24	176	78	—	北陽高	大阪府
13	CP	羽賀太一	ホンダ	1974. 6. 26	192	90	中京大	京都両洋	京都府
14	CP	太田芳文	大崎電気	1979. 12. 28	186	81	日体大	伊奈高	茨城県
15	CP	谷口了	ホンダ	1976. 11. 1	180	80	日体大	北陸高	和歌山県
17	CP	茅場清	ホンダ	1973. 5. 10	183	75	日体大	笠間高	茨城県
18	CP	東俊介	大崎電気	1975. 9. 16	191	96	国際武道大	金沢市工高	石川県
20	CP	加藤久樹	トヨタ車体	1982. 9. 17	185	84	—	ソフィジャーマ高	山梨県

見ているだけでも楽しくなっちゃう!

こだわり商品勢揃いのインターネットショッピングサイト

http://www.toki-meki.com/

+@ スポーツ | +@ライフ | +@ ビューティ | +@ 家電 | +@ ギフト | +@ キャラクター | +@ ファッション | +@ サービス

ビューティ・フィットネス

◆◆◆◆◆◆◆ おすすめアイテム ◆◆◆◆◆◆◆

効率よく運動して、健康ボディになろう!

Be. Quarter (20個セット)

●商品番号:300-003

5,500円

ゼリー状の機能性飲料。運動を開始してから脂肪が燃焼されるまでに要する時間は約20分。Be.Quarterを運動開始15分前に飲むことでこの脂肪の燃焼開始時間を大幅に短縮できます。
スッキリとしたりんご味で1パック34kcal。

■商品番号一覧

	商品番号 ライト	商品番号 スタンダード	商品番号 ヘビー
22cm	300-004		
23cm	300-005		
24cm	300-006	300-010	
25cm	300-007	300-011	300-014
26cm	300-008	300-012	300-015
27cm	300-009	300-013	300-016

シェイプアップウエイトインソール

●ライト 2,680円
●スタンダード 2,950円
●ヘビー 3,130円 ※商品番号は上記の表をご覧ください。

通勤時や散歩時に靴の中に入れておくだけ。基礎体力のアップなどあらゆるスポーツの基礎トレーニングとして効果的です。

アジャストダンベル5kg (1組)

●商品番号:300-017

14,300円

グリップ部分に柔らかいウレタンを使用。2~5kgで重さを調節できます。便利な専用収納ケース付き。

握力計

●商品番号:300-001

9,000円

測定範囲が0kg~100kgの握力計。男性向けタイプ。黒と白のコントラストが映える文字盤です。強力ポリカーボナイト樹脂製。

握力計 グリップA

●商品番号:300-002

13,500円

測定範囲が0kg~100kgの握力計。計測針を強化プラスティックで保護しています。レッドとブルーの2色使いのデザイン。

表示価格には消費税・配送料は含みません。支払い方法など、詳しくはサイトをご覧下さい。

お申し込みは、下記要領で

お電話からは FreeDial 0120-215-621

パソコンからは http://www.toki-meki.com/

ケータイからは http://mobile.toki-meki.com/

受付時間: 10:00~17:00(土日祝も営業しております) 住所:東京都中央区京橋2丁目8番18号昭和ビル3階

シーアンドエスグループは、日本ハンドボールチームを応援しています。

株式会社シーアンドエスは、サークルケイ・ジャパン株式会社と株式会社サンクスアンドアソシエイツの共同持株会社です。

シーアンドエス

アテネに向けて

アテネオリンピックハンドボール競技アジア予選神戸事務局開設

平成15年１月24日、神戸市生涯学習センターにおいて、アテネオリンピックアジア予選神戸事務局が開設された。当日は、日本協会から山下副会長を初めとして、大西専務理事、市原常務理事などが、また兵庫県ハンドボール協会から岡田茂夫会長、狩野幸介副会長、小島正男副会長、大原理事長などが、兵庫県教育委員会から内橋紀裕氏、神戸市教育委員会から赤藤芳延氏等、関係各方面から多数の参加を得て盛大に行われた。

↑事務局にカンバンを掲げる大原理事長

開局式は、先ず最初に大原兵庫県協会理事長よりアテネオリンピックアジア予選への決意表明が述べられた。山下日本協会副会長、岡田兵庫県協会会長、兵庫県教育委員会内橋氏による鏡割り、同時にくす玉割りのセレモニーの後、大原理事長により、事務局入り口に看板が掲げられた。引き続き、場所を神戸グリーンホテルに移し第１回実行委員会が開催された。実行委員会は、山下日本協会副会長と、岡田兵庫県協会会長の挨拶の後、大西専務理事より大会開催趣旨の説明、川上常務理事より事業計画の説明などが行われた。

大会開催要項、事業計画、実行委員会名簿、事務局などは別掲の通りである。

アテネオリンピックハンドボール競技アジア予選兵庫・神戸大会　第１回実行委員会

１）実行委員会スケジュール(日時：平成15年１月24日(金))

■神戸事務局開局式
　神戸市生涯学習支援センター　16：00～
■第１回実行委員会　グリーンホテル神戸　17：00～
■アジア予選兵庫・神戸大会レセプション
　グリーンホテル神戸　18：00～

２）競技会の名称

第28回オリンピック競技大会（アテネ）ハンドボール競技アジア地区予選兵庫・神戸大会
（略称）アテネオリンピックハンドボール競技アジア予選兵庫・神戸大会

３）主催・主管

主催：アジアハンドボール連盟（ＡＨＦ）
主管：財団法人日本ハンドボール協会（ＪＨＡ）

４）大会期間

2003年９月23日（火）～９月30日（月）
＊最終日は参加チーム数により変更あり

５）会　　場

メイン会場：グリーンアリーナ神戸
サブ会場：神戸市中央体育館

６）参加予定国

男子：日本・中国・韓国・チャイニーズタイペイ・クウェート・サウジアラビア・カタール・バーレーン（８ヶ国）
女子：日本・中国・韓国・チャイニーズタイペイ・カザフスタン・朝鮮民主主義人民共和国（６ヶ国）
◆上記参加予定国より男女各１ヶ国が、アテネオリンピックのアジア地区代表となる。

割られたクス玉

７）競技方法（予定）

男子：２グループ予選ラウンドと決勝トーナメント
女子：１グループ総当たりリーグ戦

８）大会開催要件

①日本チームが男女共代表の座を勝ち取る。
②日本ハンドボール界の普及活動に弾みをつける。
③オリンピックムーブメントの主旨に基づきスポーツの公平化を推進する為、中近東地区でなく日本で予選を開催する事で正常化に努力する日本の姿をＩＨＦにＰＲする。

９）大会成功に向けての日程

●大会認知促進とイメージ形成……………………………… 2002年９月～2002年11月
●大会認知拡大と関心喚起……………………………………… 2002年12月～2003年２月
●大会への参加意欲高揚と日本チームの応援喚起……… 2003年３月～2003年６月
●大会への来場促進と応援行動……………………………… 2003年７月～2003年９月

10）事務局住所

〒651－0076　神戸市中央区吾妻通４丁目１－６
神戸市生涯学習センター　北棟４階
アテネオリンピック　ハンドボール競技
アジア予選　神戸事務局
ＴＥＬ／０７８－２６２－０２６６
ＦＡＸ／０７８－２６２－０２８８
事務局長　大原　康昇
事務局次長　丸茂　康子
事務局員　高祖　加奈子

アテネオリンピック　ハンドボール競技
アジア予選兵庫・神戸大会実行委員会名簿

会　長　山下　泉（日本ハンドボール協会副会長）
副会長　大西武三（日本ハンドボール協会専務理事）
委員長：岡田茂夫（兵庫ハンドボール協会会長）
副委員長：狩野幸介（兵庫ハンドボール協会副会長）
小島正男（兵庫ハンドボール協会副会長）
柿木國夫（兵庫ハンドボール協会副会長）
委　員：市原則之（日本ハンドボール協会常務理事）
松原光三（日本ハンドボール協会常務理事）
川上憲太（日本ハンドボール協会常務理事）
角　紘昭（日本ハンドボール協会常務理事）
江成元伸（日本ハンドボール協会常務理事）
齋藤　實（日本ハンドボール協会常務理事）
緒方嗣雄（日本ハンドボール協会常務理事）
村松　誠（日本ハンドボール協会常務理事）
石井　勝（日本ハンドボール協会常務理事）
西村孝雄（日本ハンドボール協会参事）
大原康昇（兵庫県ハンドボール協会理事長）
大西和雄（兵庫県ハンドボール協会副理事長）
千葉英之（兵庫県ハンドボール協会副理事長）
丸茂康子（兵庫県ハンドボール協会常任理事）
吉田正明（兵庫県ハンドボール協会常任理事）
上野　清（兵庫県ハンドボール協会常任理事）
松野泰幸（兵庫県ハンドボール協会常任理事）
今井敬太（兵庫県ハンドボール協会常任理事）
吉井和明（兵庫県教育委員会体育保健課課長）
中谷元紀（兵庫県体育協会専務理事）
矢野正人（神戸市教育委員会スポーツ体育課課長）
横山　章（神戸市公園緑化協会事業部運営課課長）
横関　勇（神戸市体育協会スポーツ振興課課長）
瀬戸口健一（神戸新聞社地域活動局スポーツ事業部部長）
石原正夫（NPO法人神戸アスリートタウンクラブ事務局長）
田川正明（エモックエンタープライズ社社長）

実行委員会で挨拶する山下副会長

アテネオリンピック参加だ！

越智　武
（元日本ハンドボール協会理事）

第28回、2004年度オリンピック（ギリシャ）アテネ大会のアジア地域予選が、来る９月25日(木)より日本（兵庫県）にて開催される予定である。

日本ハンドボール協会が昭和13年度の期に創設されて、ちょうど65年の歳月が流れている。

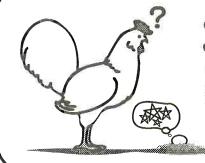
私が学生時代に送球（ハンドボール）競技のボールにたずさわって65年になる。現在は、都道府県には充実した組織があり、日本ハンドボール協会の役員が適材適所にいて着々と実行されている。念願をすることは唯一つ。オリンピックに参加することにつきるのみである。

先年の釜山アジア大会は韓国に惜敗している。中国は、その後の強化にてあなどることはできない国である。

強化本部長も着々と計画をして実行されておられることでしょうが、選手の選考、強化のための合宿や遠征等、後７ヶ月後に迫っているのである。

全国のハンドボール競技の10万人会がんばれ会員の方々は勿論積極的ですが、強化計画には経済的協力が必須である。

日本協会の積極的団体協力は勿論、と共に全国都道府県の協力が必要である。アジア地区予選の開催が日本国内にて開催されるのです。代表権利をぜひ獲得して、日本ハンドボール協会65周年の祝賀に華を添えてもらいたい。

65年間ハンドボール競技に一生を過ごしてきた心の示談ないものである。　　　　“合掌”

女子ジュニア世界選手権大会(ハンガリー)の戦術分析(WHMから)

新ルールの影響
(ゲームの高速化と得点数アップ)

笹 倉 清 則(指導委員会委員長、日本女子体育大学)
岡 本 大(指導委員会協力委員、国士舘大学)

国際ハンドボール連盟(IHF)の機関誌である「ワールド・ハンドボール・マガジン(WHM・年4号発行)」には多くの情報が掲載され、その中には戦術分析も含まれている。今号では2001年3号掲載の女子ジュニア世界選手権大会(ハンガリー)の分析を指導委員会の協力により翻訳し、紹介します。

★総　論★

ハンガリーでの女子ジュニア世界選手権の組織は素晴らしいものであった。ヨーロッパから12チーム、アジアから4チーム、アフリカとアメリカからそれぞれ2チームずつの計20チームが出場資格を得、そのすべてのチームが大会に出場した。この大会でのチーム力は比較的均衡していた。第1日目の試合の結果:スペイン23−24オランダ、デンマーク28−26チュニジア、ドイツ28−27トルコがそのよい例である。さらに、2つのグループの1位チーム、スペインとドイツが2位チームに準決勝で敗れたことからもわかる。

ジュニアのヨーロッパ選手権(2000)に出場した12チームのうち11チームがハンガリーの大会への出場資格を獲得した(フランスに替わりオランダが出場)。しかしながら、この2つの大会での成績は同じようにはならなかった。例えば、ヨーロッパ選手権では3位であったクロアチアが世界選手権では10位であった。また一方では、ヨーロッパ選手権で8位であったハンガリーは、世界選手権ではホームコートアドバンテージを利用し、銀メダルを獲得した。今大会ではヨーロッパのチームがベスト8以上を独占したが、ヨーロッパ以外のチームとの力の差は明らかに縮まってきている。

★プレーヤーの特徴★

表1は上位8チームの女子プレーヤーの主な特徴を表したものである。選手の年齢は123名のうち70名が1981年(56.9%)、42名が1982年(34.2%)、11名が1983年(8.9%)生まれであった。

決勝に進出したロシア、ハンガリーの平均身長はそれぞれ178.3cm、179.3cmで特に優れていた。身長が170cm以下の選手はわずか19名(15.5%)であり、選手4人に1人は180cm以上の身長であった。さらに注目すべき身体的特徴に、スペインチームの身長に対する体重が重かった(平均身長172.3cm、平均体重70.2kg)ことがあげられる。これはスペインのディフェンスやオフェンスの考え方に影響を与えた。また多くの国際試合を経験していることも目立った。特にハンガリー(平均53.6試合)やノルウェー。

表1　プレーヤーの特徴

チーム	選手数	平均年齢	身長(cm)						平均体重(kg)	国際試合経験数
			169以下	179以下	180以上	最低	最高	平均		
ロシア	16	19.1	2	6	8	165	198	178.3	66.3	14.9
ハンガリー	15	19.2	1	10	4	167	199	179.3	69.9	53.6
ドイツ	14	19.5	1	11	2	163	184	175.6	65.1	20.1
スペイン	16	19.3	6	8	2	162	186	172.3	70.2	12.3
ルーマニア	15	19.6	1	10	4	169	190	176.3	70.4	18.9
ノルウェー	16	19.8	2	10	4	156	184	174.1	67.5	37.3
デンマーク	16	19.6	5	8	3	165	182	173.6	68.8	23.0
スウェーデン	15	19.7	1	9	5	166	182	176.5	70.6	20.0
合計	123名	19.5	19	72	32	156	199	175.7	68.6	24.9

★シュートの成功率★

トップ5チームのシュート成功率は非常に高かった（成功率約60%）。北欧の3チームは表2で示されるようにシュート成功率は低かったが、優勝国ロシアは成功率の平均を上回った。準優勝国ハンガリーはバックコートからのシュート成功率が特に高かった(49%)。一方でスウェーデンはこの点に関しては低かった（24%）。

表2　各チームのシュート成功率

チーム	シュート数／得点数						合計
	サイドシュート	ポストシュート	フィールドシュート	カットイン	速攻	7mシュート	
ロシア	90−58 64.4%	95−65 68.4%	169−71 42.0%	56−39 69.6%	34−28 82.4%	54−45 83.3%	498−306 61.4%
ハンガリー	91−49 53.8%	76−48 63.2%	51−74 49.0%	43−34 79.1%	37−31 83.8%	50−35 70.0%	448−271 60.5%
ドイツ	87−45 51.7%	95−59 62.1%	110−41 37.3%	49−35 71.4%	40−32 80.0%	46−37 80.4%	427−249 58.3%
スペイン	55−34 61.8%	85−56 65.9%	177−77 43.5%	50−36 72.0%	24−20 83.3%	37−27 73.0%	428−250 58.4%
ルーマニア	49−25 51.0%	61−44 72.1%	132−52 39.4%	61−51 83.6%	29−24 82.8%	42−36 85.7%	374−232 62.0%
ノルウェー	54−27 50.0%	84−47 56.0%	130−43 33.1%	40−30 75.0%	45−36 80.0%	50−34 68.0%	403−217 53.8%
デンマーク	84−45 53.6%	79−42 53.2%	114−46 40.4%	37−24 64.9%	27−19 70.4%	36−26 72.2%	377−202 53.6%
スウェーデン	72−39 54.2%	67−38 56.7%	129−31 24.0%	36−24 66.7%	25−22 88.0%	23−12 52.2%	352−166 47.2%
トータルの成功率	582−322 55.3%	642−399 62.1%	1112−435 39.1%	72−273 73.4%	261−212 81.2%	338−252 74.6%	3307−1893 57.2%

★シュートの位置と得点率★

表3は異なる地域と状況における得点の割合を表したものである。ロシアは最も実戦的なチームであるのに対し、スペインやハンガリーはバックコートからの得点が目立っていた。速攻による得点は驚くほど低かった。ノルウェーだけが満足のいく値に達していた。

全体的に攻撃の有効性が強くでており、上位8チーム間の計22試合は平均得点で29.1−23.7という結果となった。過去の世界選手権で、これだけたくさん得点がされたことはなかった。これは、おそらく上位チームの攻撃力が増したためだけではなく、新ルールの影響でもあると思われる。新ルールの適用は、問題はなく、よりスピーディーな試合展開に貢献し、タイムアウトの長さを減少することを証明した。

表3　地域と状況における得点の割合

チーム	総得点	シュートの地域					
		サイドシュート	ポストシュート	フィールドシュート	カットイン	速攻	7mシュート
ロシア	306	19.0%	21.2%	23.2%	12.7%	9.2%	14.7%
ハンガリー	271	18.1%	17.7%	27.3%	12.6%	11.4%	12.9%
ドイツ	249	18.1%	23.7%	16.5%	14.0%	12.8%	14.9%
スペイン	250	13.6%	22.4%	30.8%	14.4%	8.0%	10.8%
ルーマニア	232	10.8%	19.0%	22.4%	22.0%	10.3%	15.5%
ノルウェー	217	12.4%	21.7%	19.8%	13.8%	16.6%	15.7%
デンマーク	202	22.3%	20.8%	22.7%	11.9%	9.4%	12.9%
スウェーデン	166	23.5%	22.9%	18.7%	14.5%	13.2%	7.2%
合計	1893	17.0%	21.1%	23.0%	14.4%	11.2%	13.3%

★ 攻撃のコンビネーション ★

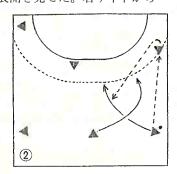
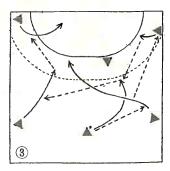
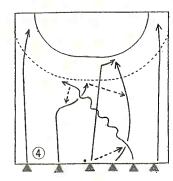
最後に、この大会で発見したいくつかの面白い攻撃のコンビネーションを紹介する。

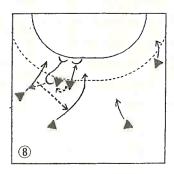
①ロシアのコンビネーションプレイ。センターは右45゜に パスして、そのまま右斜めに走っていく。右45゜は右サイドにパスして、左斜めに走り、右サイドからのリターンパスを受け、左45゜がシュートするためにクロスしながらパスをする。

②ハンガリーもロシアと同じようなきっかけのプレーを開発したが、ロシアよりそのコンビネーションを多用し、さまざまなシュートへの展開を見せた。右サイドからバックパスを受けた右45゜はシュートをするか、センター、左45゜、ポスト、もしくは左サイドにジャンプパス。

③デンマークが使ったパス回し—センターから右45゜へ、そして右サイドへ。その後センタープレイヤーに戻し、左45゜へ。最終的に左サイドがシュートへ。

④ノルウェーだけが一貫して新しいスローオフのルールを利用した。左サイド、ポスト、右サイドの3人は、バックコートのプレイヤーがバックコートの位置からシュートをするためにクロスの動きをおこなっている間に、ゴールエリアまで走りこむ。

⑤スウェーデンが使った単純だが効果的な動き。パスのつなぎ：センター（パスした後ゴールエリアラインまで走りこむ）→右45゜→右サイド→右45゜（パスして走りこむ）。右45゜はシュートフェイントから左サイドへパス。

⑥ブラジルは例5と似たようなコンビネーションを使用したが、最初からダブルポストを配置していた。

⑦左45゜が右45゜のポジションからシュートしたチュニジアの動き。パスのながれ：センター→右45゜→右サイド→左45゜

⑧中国チームのフリースローコンビネーション。3本のパスと2枚のブロックでバックコートからシュート。

第7回関東ビーチハンドボールフェスティバル富浦さざ波大会

開催要項

1．目　　的　ビーチハンドボールをとおして、生涯スポーツ・健康増進・海岸の美化やお互いの親睦を図る
2．主　　催　千葉県ハンドボール協会・富浦町
3．主　　管　千葉県ハンドボール協会ビーチハンドボール委員会
4．後　　援　㈶千葉県体育協会・㈱スポーツイベント・㈱モルテン・千葉テレビ放送㈱・㈱千葉日報社
㈲房州日日新聞社・㈲市川スポーツ・㈲アイカ
富浦町教育委員会・富浦町観光協会・富浦町民宿組合
5．期　　日　平成15年5月17日（土）・18日（日）　雨天に関わらず実施する
6．会　　場　富浦町原岡海水浴場　（千葉県安房郡富浦町原岡）
7．参加資格　16歳以上の男女で平成15年度㈶スポーツ安全協会傷害保険又は任意保険に加入していること
開会式及び大会両日とも参加できるチームであること
8．種　　別　男子の部（男女混合を含む）　女子の部
9．競技方法　第１日目　リーグ戦　・　第２日目　トーナメント方式
10．申し込み　参加料を納入した後、下記の書類を同封し郵送で申し込むこと（期限厳守）
（ア）大会申込用紙
（イ）宿泊及び昼食申込用紙
（ウ）ビーチハンドボール登録用紙
（ハンドボール協会登録とは別です。ビーチハンドボール事務局で一括して登録しますので必ず同封してください）
（エ）大会参加料（振込用紙のコピーを同封）
締め切り日　平成15年４月19日（土）必着
参加料振込先　館山信用金庫　富浦支店
普通　0061905　ビーチハンド　本間　誠章
申し込み先　〒299-2403　千葉県安房郡富浦町原岡980　㈲アイカ内
ビーチハンドボール委員会　本間　誠章　宛
11．参 加 料　1チーム　13,000円
12．競技規則　平成15年度ビーチハンドボール競技規則による
13．審　　判　審判については本部審判並びに帯同審判にて行います
オフィシャルについては空いている参加チームにお願いします
14．表　　彰　優勝……………表彰状ならび優勝楯を授与
２位・３位……表彰状ならび楯を授与
15．宿　　舎　宿泊申込書により大会事務局を通じて宿泊すること
≪宿泊料≫１人１泊２食　7,200円
16．問合せ先　千葉県ビーチハンドボール委員会　数藤（すどう）　TEL：090-2935-8788
17．そ の 他　（ア）～（ウ）の用紙は千葉県ハンドボール協会ホームページ（http: //www.chiba-handball.jp/）よりダウンロードできます。又は直接委員会より取り寄せて下さい。

※ユニフォームは各チームでご用意ください。

「愛好者増加作戦に期待」

企画・広報委員
早川　文司

フリースロー
Free Throw

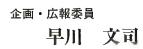
ハンドボール愛好者を増やそう。スポーツファンに目を向けさせよう－日本協会だけでなく、各地方協会においてもそれぞれが知恵を出し合っていろいろなアイデアを盛り込んだイベントを行っている。しかし「笛吹けど踊らず」と言おうか、なかなか効果が見えてこないのも現実ではないだろうか。

昨年暮れに名古屋で行われた全日本総合選手権でも、新たなアイデアが目を引いた。

まずはフロアに敷いた初めてのコート。体育館全体が明るくなった感じで、結構「いける」感じがした。選手たちは足を滑らせたり、まだ戸惑いも見られたが、次第になれればいいし、このコートはいろんな色も出来ると言うから、テストを繰り返して、会場に合わせた色を使うという手もあろう。

また、試合前の選手入場は地元の子どもたちがエスコートした。サッカーのＪリーグあたりにはよく見かける光景だが、こうした地道な活動が、ファン増加作戦に結びつくことを願っている。

それにしてもスタンドのファンが少なかったのは寂しい限りでもあった。もっとハンドボールという競技を、世間に認知させる必要性を改めて思い知らされた。まだまだ「ハンドボールを見たことがない」一般の人は多い。うまく掘り起こすことを考えたいものである。

そうした中、首都圏女子リーグが誕生したニュースに接した。日本リーグ開催とリンクして開催するということらしいが、会場を少しでも盛り上げることにも貢献するはずだ。

経済不況が続く現在、日本リーグチームの休部や廃部が相次ぎ、一方で少子化による競技者の減少もある。競技を続けようにも、その場は確実に少なくなっていることも直視しなくてはなるまい。

この首都圏女子リーグは、こうした窮状を救う意味合いもあるようだ。戦える喜びが目の前にできるし、レベルアップにもつながる。さらに、日本リーグとリンクすることで試合の広報にも役立つだろう。プレーする場を探している選手にも朗報に違いない。

日本リーグの広島メイプルレッズやＨＣ東京、ＨＣ名古屋をはじめ、各地にクラブチームが誕生している。しかし、運営経費などを考えると、決して存続させることはやさしいことではないだろう。しかし、せっかく誕生したクラブが姿を消すのはあまりにも寂しい。愛好者を増やしてみんなで支えることが発展につながることは当然だ。トップの強化も大切だが、底辺の拡大もまた欠かせない。首都圏女子リーグの発展を楽しみにしたい。

連 載 31

NTSセンタートレーニング報告

NTSコーディネーター　栗 山 雅 倫

12月のＵ－19センタートレーニングに続き、１月11日・12日にＵ－16、１月18日・19日にはＵ－12のセンタートレーニングが開催されました。

３年目ということもあり、運営・指導・事務処理等についてスムースに運べるようになってきました。

今回はセンタートレーニングに関する報告をさせていただきます。

1、トレーニング内容

今回のテーマ：課題克服型を目指した設定

現在までに、少しずつ課題設定を変化させてきましたが、今回は、現在の日本の競技レベルを踏まえた課題設定を施し、選手が「課題に対し何ができるか？」という観点を設定しました。そして、新たに上がった課題を次回のブロックトレーニングにつないでいく形式を目指しております。

2、具体的な課題設定

具体的には以下のとおり課題設定をし、カテゴリー別に更に課題を咀嚼しました。

（Ｕ－16の例）

１．テーマ

個の強化が主体であるが、チームの中の個であることを意識させる。

2002年度ＮＴＳテーマの“目指せファンタジスタ”の実践。

トップレベルで活躍できる、オールラウンダーの育成とその指導の充実。

Ｕ－16レベルでのテーマの具体化⇨基盤となる技術戦術の修得段階として捉える。

２．技術戦術課題

ＯＦ：前を狙う姿勢を習慣付ける⇨Ｕ－16は、その基盤の定着を目指す（ステップワーク）

ＤＦ：機動的でチャレンジできるＤＦ能力を養う⇨Ｕ－16は、コンビネーションでのチャレンジ

ＧＫ：状況に応じた、積極的なキーピングの展開⇨Ｕ－16は、ポジショニングからセービング基本姿勢の定着（専門的なコーディネーション能力の基盤を作る）

3、U－19・U－16選手選考

Ｕ－19,Ｕ－16は選考も兼ねており、強化委員会が定めた基準をもって選考にあたりました。なお、ここで選考された選手は、Ｕ－19・Ｕ－16の代表候補として、最終的な選考会の対象選手となります。Ｕ－16については、次号に掲載させていただきます。

4、アンケートの実施

Ｕ－16、Ｕ－12のセンタートレーニングには、これまでになく多数の引率指導者のご参加をいただきました。そこで、今回は先生方との活発な意見交換が実現し、アンケート調査も実施することができました。このように忌憚のない意見を頂戴できましたことは、大変有意義に感じております。次回以降のステップアップのために、是非とも役立たせていただきたいと思います。

以下、主なアンケート報告です。

【NTS運営環境について】

・いろいろな課題も多いと思うが、批判、批評することからでなく、取り組もうとしていることを応援するところから始めたいと考えている。

・ブロックからセンターへの選考について、他にも良い人材もいると思われるので、参加人数を拡大できる方向でお願いしたい。(逆に人数を絞り込んだほうが良い意見も同等にあった)

・大会スケジュールからして、この時期が適切な開催時期と思われる。(卒業までの空白期間での開催)

・３年生の充実度を考えると時期的な調整が必要かと思う。(受験との兼ね合い？)

・上から考え方をおろすのも大切だが、下からの意見を吸い上げることも大切。中学になって、はじめてボールをさわるところもたくさんある。そのような現場に目を向けたものであることが望ましい。

・小学生の場合、ハンドボール以外の自分をきちんとしておく必要もある。宿泊もひとつのトレーニングなので、「ナショナルの宿泊のルール」のようなものを指導でき

る環境にすると、緊張感も高まって良いと思う。

【トレーニング環境について】

・わかりやすい内容で、参考になった。
・経験豊富なスタッフの指導が受けられて良かった。
・現在の体制を維持しながらも、各方面の意見を取り入れていただければ良いと思う。
・年代別の専門の指導者を取り入れることも必要だと思う。
・女子チームには、女性スタッフも積極的に登用してはどうか。
・どのような選手・戦術を中心に進めるのか明確にしたほうが良いのでは。
・特に小学生の指導にはスタッフの増員が必要では。
・外国人選手や全日本選手を招聘して講義を行うなどしたら、モチベーションアップにもつながるのでは。
・小学生には、より小さいボールでやったほうが良かったのでは。オリンピックも大事だが、面白さを伝えることも大事。

【トレーニング内容について】

・具体的な場面を想定した形で進められていて、通り一遍の技術指導ではなく、良い試みであったと思う。
・GKなどの専門的トレーニングなどがあって良かった。
・時間的な制約で、しぼられたメニューであったと思う。「短時間で何を選手たちに残せたか？」が課題。NTSとして、指導者のみの指導研修を行ってはどうか。
・トレーニング内容のビデオは、今後も作成していただきたい。できれば沢山のチームが購入できるように、安価になれば良いと思う。
・目指すべき戦術が明確になれば、さらに具体的にすることができる。選手の育成だけでなく、戦術の向上を考えてはどうか。
・インストラクターや、手伝いの実業団選手の見本があって良かった。
・技術のコンセンサスを、より一層はかってもらいたい。（例えばオーバーの規準を示す）

以上、アンケートで頂いたご意見の一部を紹介させていただきました。

全般的には非常に建設的なご意見をあずかる事ができ、大変心強く感じております。また、一方、現状の課題を、鋭く見抜かれたご意見も頂戴できましたことも、貴重なことと思っております。

当然ながら、いろいろお聞かせいただく中には、まったく相反しあうご意見も多数あります。NTSはそれだけ幅が広いわけです。そのような中で、それぞれの方のご意見をすべて活かすことは、なかなか厳しい作業であると思います。しかしながら、現実、皆様がお持ちになっている所感を、皆様とともに少しずつでもクリアしていければ幸甚です。

今後とも、より一層のご理解とご協力のほど、お願い申し上げます。

NTS指導教本およびビデオの購入申し込み

㈶日本ハンドボール協会NTS強化指導教本＆コーチングビデオ係まで、現金書留にてお申し込み下さい。お釣りが出ないようにお願いします。

価格は、NTS2002の指導教本1冊と90分ビデオ１巻がセットで、１セット10,000円、送料が900円です。２セット以上まとめてご購入の場合は、（セット数×10,000円）＋送料（1,000円）です。また、NTS2000版（教本１冊・ビデオ２巻）は、１セット9,000円で販売いたします。送料等は2002セットと同様です。

＊2002年度版ビデオはトータル120分以内ですので１巻にまとめてあります。価格は２巻きの2000年度版と同じですが、実質的なボリュームは2000年度版と大差ない他、グレードもアップいたしております。ご理解のほどお願いいたします。

［申し込み・問い合わせ先］

財団法人日本ハンドボール協会事務局
〒150－8050　東京都渋谷区神南１－１－１　岸記念体育会館内
TEL 03－3481－2361　FAX 03－3481－2367

世界のトップレフェリーに学ぶ

ノルウェーのレフェリー オイエ国際審判員による講習会

東海学生ハンドボール連盟　池　渕　智　一

2月号既報のように、昨年11月大阪で開催された全日本学生選手権大会ではノルウェーからトップレフェリーが招聘され、実際のゲームを担当した。その際、講習会が開かれ実際のゲームでのノウハウ、彼らのハンドボール感などが語られ有意義なものとなった。審判員として大会に参加した東海学連の池渕氏にその講習会の様子をレポートしてもらいます。

講習は大会3日目の15日の審判ミーティングの際に行われた。講演は大きく試合前、試合中、試合後の3つの考え方について行われた。

試合前

メンタル面の準備として、リラックスをし、さらには気持ちを試合に向け高めていく。(4～5時間前から始まる。)

そのためには、

- 1時間前にはホールには到着する。そして、コートなど、チェックリストの確認を行う。
- コートに入ればチームがいる。挨拶等しながら、よいコンディションをつくる。選手だけでなく、運営スタッフにも！
- 試合の一員として、みんなの観ているところで、ウォーミングアップをしてみせるべき。
- ボールの点検等も役割ではないが、配慮している。
- どんなプレーヤー、どんなシュート、どんなディフェンスシステム等ゲームを予想・イメージし、臨む。
- 選手と抱きつくまでは無いにしても、アイコンタクト、手を振るなど、挨拶を両チーム平等にとる。
- ボールの選択は両チームのキャプテンにさせてもよい。(プレーをする選手が使いやすいボールが良い)

試合中

①チームを助けるのがレフェリーの役割

- ミスをさがしているわけではない。罰則を適用する為には、ミスをしないようにプレーヤーを助けることである。
- ダメなものはダメとアイコンタクトを含め、きちんと伝えよ。同じ事をやれば、「だから言っただろ」と罰則を適用する。
- 一つ前のゲームを生かすように臨んで欲しい。

オイエ、トグスタットの両レフェリー

②ゲームは2人の審判によって運営される

- 決して7mスローはコートレフェリーからとらない。そこまで、ペアを信頼する。
  - ペアで長年吹くと、目を見ただけで何を考えているか分かるようになるだろう。
- 日本のベンチはおとなしいが、ベンチにイエローカードを適用するときは、1人のみが（ペアの内、一方のみが）ベンチにイエローカードを適用すべきではない。合図をしてでも、ペアに行かせ、二人の見解とするべき。

※イエローカードを示した後は、長居をせず（会話等やり取りを含め)、すぐ離れる。そうすることで、更なる罰則の付加を避けることができる。(長居をし会話の中で、更に興奮し、暴言を吐く可能性を防ぐ為)

- ベンチに話す必要があるときは点を取られた後ではなく、点を取った気分の良いときに行う。
- 2人で吹いているのだから、相手の領域は同意する方向で考えるべき。みんなが観ているのだから。

③ゲームをスムースに運営するためには

- ゲームの理解

(1)ミスをしたことによる代替として、カーバーをする判定をしてはならない。

(2)プレーの先読みをした上で、アドバンテージをみるべき。

- 10分間で基準をセットする。
- 回避させるような働きかけをする。
  → (選手とコンタクトをとり、基準を伝える。)
- 注意は全員に示す。分かるように！

・自分がゲームにのっていく。流れにのっていく。考えをもつこと。
・決断をする必要な場面について
何も無いなら、ないと示す。
（例えば、接触プレーがあったときに、ファールがあったかどうか分かりにくいプレーに対して、レフェリーは何も反則はないと判断し、プレーが続行されるケースなど）
(3)コーチのストレスをためないために。
・レフェリーはいろんな仮面を持っておくこと。
・プレーヤーに対して両チーム公平とする姿勢。
・両チームとも同じように吹き、バランスを大切にする。
→プッシングの反則に対し、一方を判定し、同じケースを相手は判定しないではバランスが悪い。
・ミスはあるが、次は気持ちを高めること。
ゲーム終了後、ディスカッションし次へつなげる。
・許されるプレーと許されないプレー
→背後から腕を引っ張る行為はレッドカードを示す。

※自分のスタイルを持つこと。
→自分自身を権威として表現してはならない。

・罰則を与えるとき、どのように立ち振る舞うか。
→会話してはならない。その会話が更なる罰則へつながるかも。
・判定は、まず方向指示から。
みんなに受け入れられる判定でなければならない。
何が悪いのか、ボディランゲエッジを使って伝える。
また、笛を使って伝えるのだから、音色を考える。何もかも強い笛はどうかな？
・ゴールレフェリーがボールを追っているケースがよく見られる。ゴールレフェリーにとって、役割はゴールエリアである。
（例）ポストが押す。それに対し、ディフェンスも押す。ボールを追っていると、２つ目のディフェンスを罰してしまう。これは、観衆を含めて、納得・信頼されないものである。
・ポジション（位置取り）について
見たものだけを判定する。
→見えないのなら、ポジションが悪いと思う。

④その他注意すべきこと
・ゴールレフェリーは、コートに入ってはならない。
→コートに入っていくことで、攻防が変わった判定をしている事を示すことになるのでは。
・コートレフェリーが罰則を示した後、ゴールレフェリーの後追いの２人でのシグナルはいらない。
しかし、背中を向けているときは、ゴールレフェリーからの補助は可能。
・交代は、５分で左右、10分でサイドの交代をしている。
→これは自分たちのスタイルである。
・カウンターアタックの際は、コートの外に出て、いい位置取りをさがす。

試合後

分析と反省
・評価に対しては素直になるべき。
・何もかも次へつなげていくべき。
・分析に可能ならビデオを使う。
・トレーナーやプレーヤーに積極的に意見を求める。

Q&A

Q．プッシングの判定基準は？
A．ディフェンスの正面でのプッシングには許容範囲がある（トレランスがある）が、横から、或いは背後からのプッシングに対して許容範囲はない。
Q．得点の後や選手の交代などのスロースタートに対して、パッシブプレーに関する考えは？
A．後方の交代選手の方向へのパスやドリブルをして交代を待っている状態は、パッシブプレーの予告を示す。
→交代しない３～４人の選手が攻めればよい。
得点の後は、近くでボールを持っているプレーヤーに「早く行こう！」と促せばよく、あまり神経質になる必要はない。
Q．負傷した選手への処置について、トレーナーの処置の時間はどれくらい認めればよいか？
A．時間をかけてもでも、そのプレーヤーを助けるべきである。プレーヤーを助けることを優先させる。

終わりに

ＩＨＦトップレフェリーで、国際経験豊富なノルウェーのレフェリーをゲストに迎え講習を受けるチャンスが得られた。また国内のトップレフェリーの方々とともに大会に参加できたことを光栄に思います。ノルウェーのレフェリーが笛で示してくれた基準を、これから「自分たちのスタイル」を形成していく上で、生かしていかなければならないと思いました。

ノルウェーのレフェリーを観て一番に感じたことは、「ハンドボールをしようぜ！」というさわやかな雰囲気である。基本に忠実であり、基準を一定に保つこと。この一見、簡単そうに見えることをソフトに表現されているように感じました。

終わりになりましたが、全日本学生連盟審判指導運営専門委員会・全日本学生連盟、また、貴重な機会を与えてくださった関西学生連盟の方々をはじめ、今大会にてお世話になりました方々に厚く御礼申し上げます。

※編集委員会注：講演内容はあくまでオイエ氏自身の経験によるもので見解等で日本ハンドボール協会審判部のものと異なる事があります。本稿においては世界のトップレフェリーの生の意見を掲載する事に重点を置き、特に日本協会の伝達等と異なる事につきましてもあえて訂正を加えませんでした。

ＪＦＡ１級審判・女子１級審判 インストラクター・インスペクター 研修会報告

ハンドボール国際審判員　浜田　浩和

1月24日㈮〜26日㈰の２泊３日で、福島県Ｊヴィレッジでおこなわれた研修会に参加させてもらいました。他競技の審判研修会への参加は初めてでしたので、大変興味深いものになりました。

なお、今回は審判対象の研修に参加しました。参加者は、男女125名でした。

第１日目

第１日目は、公務の関係で夕刻からの参加になりましたが、参加者の全員が開講式前にＴＯＥＩＣのテストを受けていました。

最初の講義は、昨年からチーフレフェリーとして招聘されたレスリー・モットラム氏で、「2002年Ｊリーグを振り返って」でした。内容については、次の通りです。

・STANDARD（基準）

①．Physical　Challenge（フィジカル　チャレンジ）

→だいたい良かった。しかし、時としてＦＫだけでなく、注意・ＹＣ・ＲＣを使うと良い。

②．Simulation（シミュレーション）

→露骨な演技で、ＦＫをもらおうとするケースがあった。

③．Holding（ホールディング）

→シャツや腕を引っ張られても、ＹＣが出されていないケースがあった。

④．Delaying（遅延）

→すばらしかった。

・Control（コントロール）

①．Awareness（気づき）

→ＶＴＲをもっと使うなどして準備する。可能性に対する気づき（視野の広さ）。

②．Man　management（人の管理）

→選手の特性の気づき、選手に対するアプローチの仕方（性格）

選手に注意が多い（10〜20分）→選手は注意ばかりする審判と思い、荒れるゲームとなった。

③．Communication（コミュニケーション）

→罰則をしっかり使う

④．Free　kicks（フリーキック）

→ボール・ＤＦ・審判の位置はよいが、壁からＤＦが出てくることがある。

⑤．Showing　cards（カードの提示）

→カードを使うまでに遅れるケースはあるが、全体的にはよい。

⑥．Positioning　and　movement（ポジションと動き）

→ワイドな動きやＡＳＳとの連絡について、若手は動きすぎが見られる。

ＧＫがボールを持っている時に、関与しすぎている。

・ASS・Referees（副審）

①．Offside（オフサイド）

→だいたいよい

②．Signaling（シグナル）

→シグナルが早すぎる

③．Co-operation（協力）

→主審を助けようとしている

ファールがペナルティーエリアの中か外か？ＡＳＳは外Refは中の場合ＡＳＳはRefに情報を知らせることが大切。

この後、ＶＴＲ学習として20場面を見てモットラム氏がコメントを述べた。

感想としましては、Ｊリーグの笛を吹きヨーロッパから招聘されたチーフレフェリーからの指導は、大変すばらしいものであり、日本の審判員も心強いものがあるのではと思いました。コメントでは、日本の審判を褒めるところが多く、改善すべき点は的確にわかりやすく指摘していました。

フィットネス・テストの準備をする受講生

講義の後、審判・インスペクター・インストラクター全員にルールテストが１時間ほど行われました。この間、私は審判部長の小川氏より次の点のお話を聞くことができました。

①．審判システムについて

定年：ＦＩＦＡ　45才　ＪＦＡ　50才

人数：国際主審７人（女性３人）

技術委員長・田嶋氏の講演

講習するレスリー・モットラム氏と通訳

メディカルケアー講習の熊澤氏

メンタルトレーニング講習の立谷氏

国際副審9人（女性2人）

その中でSpecial　Referee（いわゆるプロ）は3人だそうです。

※いずれＪ１の審判は全てＳＲにするとのことでした。

②. 海外研修について

2ケ月の短期研修を4～5名程度の参加で実施するとのことです。

③. 国内研修について

年に2回の研修会に、1級審判員は参加が義務づけられている。

Ｊ１の主審15～6人に対しては、月1回のＪ１研修会が行われている。

Ｊ１の各チームには、レフェリーが講習会に出向いている。

研修内容には、必ずＴＯＥＩＣ・ルールテスト・フィットネステストが行われる。

研修会には、技術委員会が参加しコミュニケーションをとっている。

Ｊリーグでは、毎節1試合をピックアップして研修している。

④. その他

ＳＲは週に2回、その他は2週に1回の担当がある。

日本の審判は、ＦＩＦＡからも高い評価を受けている。

第2日目

2日目はフィットネステストが8：30から行われるため、トラックには朝6：30に5～60人の受講生がトレーニングを始めていました。朝食後、8：00には全員がトラックでウォーミングアップを開始し、8：30に小川審判部長よりあいさつと諸注意があり9：00からテストが行われた。

まず、2グループに分かれて12分間走、そして4人1組で50ｍ走→200ｍ→50ｍ走→200ｍ走の順番で全てが2時間のうちに行われた。参考までにＦＩＦＡの基準では、12分間走は2700ｍ、50ｍ7.5秒、200ｍ32秒がボーダーラインです。私は、皆さんのじゃまにならないように、またサッカー審判員の体力に少しでも接せられるようにと12分間走だけ参加させて頂きました。ハンドボールは12分2400ｍという基準がありますが、サッカーは年2回のフィットネステストが審判割り当ての参考資料になるため、高い目標を皆さん持っていました。ちなみに3000ｍは最低という目標のようで、最初私も一緒に走っていました。400ｍ1分30秒ペースで2周まではついていけましたが、終わってみれば2800ｍがやっとでした。恐るべき早さ。しかし、皆さんの体力はこんなものではありませんでした。この後、50ｍ→200ｍと走っている様子を見て、サッカーの審判はハンドボールとは違い体力が一番と実感しました。体力なくして、集中力は維持できず良い判定はないと思いました。受講者のデータは翌日発表され、不合格の人には、3日目の朝6：30から追試が行われました（勿論ペーパーテストも7割がボーダーで同時に追試を行っていました）。ＳＲの岡田正義さんの記録は、12分で3130ｍ、50ｍ6.79秒、200ｍ28秒とすばらしいものでした。

昼食後、講義2「サッカー審判員のメンタルトレーニング」について、国立スポーツ科学センターの立谷泰久氏より講演がありました。

メンタルトレーニングは、従来選手が行い、指導者も少々する程度で、審判員には行っていませんでした。高田委員長が、岡田・上川両氏を連れセンターに来たのがスタートでした。昨年4月より現在まで17回実施してきたとのことです。

ここで、受講者全員に簡単な作業がありました。講義前と後での変化を見るとのことで、15問を5段階のレベルで答えるという簡単なものでした。答えからは、自己コントロール能力、集中力、自信、決断力、判断力についてわかるというものでした。

講義の内容は、「メンタルトレーニングの必要性」「ゲームコントロールを妨げるメンタルの問題・課題」「なぜ、ゲー

メンタルトレーニング講義

グループ討議全体会発表者

ムコントロールをする必要があるのか」「ゲームコントロールをしっかり行うためには」「メンタルトレーニングの実際」などが２時間ほど話されました。メンタルトレーニングについては、ハンドボールの審判にも同様のことが言えると思います。

講義３は、「ワールドカップのメディカルケアー」について、慈恵医大の熊澤祐輔氏より講演がありました。

熊澤さんは、2002．05．27．～07．01．の36日間、審判のサポートにあたっていました。この間の審判のサポートには、審判員が毎日の生活で困らないようにと、様々なスタッフがいました。例えば、健康管理をするドクターやマッサージを行うマッサーなどです。

そして、審判の生活とは、選手と同様に毎日２時間程度の練習があるのです。それも各自ではなく全体でです。３つのパターンがあり、normal training、match preparation training、active recovery training に分かれます。このことからも、サッカーの審判は体力勝負ということが伺えます。この他には、写真を見ながら生活の様子を聞きました。

講義４では、技術委員長の田嶋幸三氏からの講演がありました。内容は、トルシエ・ジャパンがワールドカップまでの３年８ヶ月でどの様なことをしてきたのかのコンセプトについての話でした。ＶＴＲでは、ジャパンの練習風景とそれが実践で発揮できているシーンを見ました。勿論戦術的なこともですが、審判の判定についても技術委員会としての立場で述べられていました。この点についても、ハンドボール界では、コーチ・レフェリーシンポジウムでは行われていますが、委員会レベルのものという点では大いに参考になることだと思いました。

夕食後のグループ討議は10班に分かれ、共通テーマは「試合前・中・後の選手・ベンチへの適切な対応（コミュニケーションを含む）のあり方」「主審・副審・第４の審判員の良い協力のために、具体的に心がけなければならないこと」の２つで、選択テーマは「動きの量、質、ポジショニングと『説得力』」「シミュレーションの見極め」「自由題」から１つの計３テーマを話し合い、翌日全体会にて報告をする形式でした。

第3日目

早朝から追試を行い、８：30からの２時間、最後の研修となりました。昨晩のグループ討議の報告を、各班の代表が壇上にあがり司会者（受講生の中から選出）の元で発表が行われた。この報告会は、受講生による自分たちの研修で、そこでは審判部長も意見を言うことはありませんでした。各班の報告には、様々な問題を提起し、それに対して意見を述べる場面もありました。その中で、日頃のトレーニングについてどうしているかの質問に、東京都は月２回のトレーニングを実施しているとのこと。また、千葉・山梨でも同様にトレーニングをしていると報告された。フィットネステストからも、日頃相当のトレーニングをしていると感じました。

10：30～閉講式が行われ、審判部の参事小松原博和氏、部長小川佳実氏より話があり、その中で「審判員の試合後のインスペクターとの関わり」「年２回の講習の義務づけ」「テストに臨む姿勢と結果」の３点について厳しい指摘がありました。今回この研修に参加した審判は、Ｊ１の審判登録がされているとのことで、将来的にこの中から何人もの審判がＳＲになるということで、厳しい指導は期待の裏返しと感じられました。

２泊３日にわたり貴重な体験ができたことは、私のこれからの審判生活に大いに役立てていきたいと思いますし、この報告を読まれた方にとりましても何らかのお役に立てれば幸いです。

最後に、この研修の参加に対する企画をして頂いた日本ハンドボールリーグ審判部及び国立スポーツ科学センターの堀美和子さんには、この場をお借りしてお礼を申し上げたいと思います。

実践研究推進校
募 集 要 項

小学校体育科授業における ハンドボール教材の展開について

1. 趣旨

小学校における教材としてのハンドボールの課題について、総合的に実践研究を行ない体育科授業の充実を図るとともに、ハンドボールの普及を図る。

2. 研究実践内容

(1)実践研究のテーマは次のとおりとする。

ア　課題解決型の学習(めあて学習)の充実とその進め方。

イ　児童の体力（投能力）の向上に関する取組の在り方と進め方。

ウ 「体ほぐしの運動」の内容と方法

エ　運動部活動の充実と運営の在り方

オ　その他

(2)推進校は、「ボール運動」、もしくは「ゲーム」でハンドボールを取り上げ、上記の内容から二つ以上のテーマを選び、その一つを主テーマとして、実践研究を進めることとする。

なお、上記のテーマのうち、例えばイとウなどは、一体的に実践研究することもできるものであり、一体的に行なう場合は、一つのテーマでまとめて実践研究することができることとする。

3. 研究実践期間

おおむね2年間とする。

4. 対象推進校

各都道府県協会から推薦された小学校とする。

5. 推進校の運営

(1)推進校は、校内における研究体制を整備し、必要に応じて家庭や地域との連携も図りながら、計画的、継続的に実践研究を推進する。

(2)推進校は、(財) 日本ハンドボール協会、都道府県ハンドボール協会（市町村ハンドボール協会）の助言の下に実践研究を推進すること。

(3)推進校は、第1年次には実践研究の中間報告書を、また、実践研究期間の終了時には、研究成果報告書を、それぞれ日本協会の指定する様式にしたがって、都道府県協会を経由して日本協会に提出すること。

(4)日本協会は、必要に応じて推進校および都道府県協会と連絡をとり、実践研究の推進について意見および情報の交換を行なう。

6. 経費

日本協会は、研究委託費として予算の範囲内で支出委任する。

7. その他

日本協会は、必要に応じて実施状況および経理処理状況について、実態調査を行なう。

8. 応募の締切

平成15年5月31日（土）

9. 申込、および問合せ先

応募の際には以下にお問い合わせ下さい。

(財) 日本ハンドボール協会

学校体育ハンドボール検討委員会（代表：佐藤　靖）

〒010−8502

秋田市手形学園町1－1　秋田大学教育文化学部

スポーツ・健康教育講座　佐藤研究室

TEL／FAX：018−832−6805

ライプチヒのハンドボール

スポーツコーディネーター　高橋日出二

昨年の12月はじめ、その年最後のスポーツ企画打合せのため、ライプチヒ（ドイツ・ザクセン州）に数日間、滞在した。年に何回も往復するので経費節約という訳もあり、私の定宿はＩＡＴ（応用トレーニング研究所）のゲストルーム。節約のためだけではなく、ここは市街中心部まで市電で数分以内と便利で、ライプチヒ大学スポーツ学部やスポーツギムナジウム（８～19歳の女子ハンドボールや柔道など多くの競技種目のスポーツタレントが通学するスポーツ専門学校—大学進学の資格付与）に隣接しており、徒歩で数分以内に、スポーツアリーナ（女子ハンドボールの強豪ハー・ツェー・エル（以下HCL）のホーム）やサッカースタジアム、陸上、競泳、ボートなどの各クラブが点在する、いわばスポーツタウンの中心に位置しているからだ。そういう訳で、ほとんどの所用もこの界隈で片付くことが多く、さらに学部キャンパス内の学生食堂は、大学関係者以外にも、研究所やギムナジウムの教職員、近くのクラブの指導者なども食事やミーティングに利用しているので、新しい情報の収集に役立っている。

今回のそのような情報は、12月７日に行なわれた「サンタクロース・ミニハンドボール祭」。ライプチヒでは、ＨＣＬ（ドイツ女子ハンドボール・ブンデスリーグ１部／2001—2002リーグ優勝）の活躍によって数年前から、ハンドボールが圧倒的な人気である。サッカーは、ドイツサッカー協会発祥地としての歴史があり、バレーボールや柔道、ボート競技また陸上なども盛んではあるが、ハンドボールの実績には敵わないのが現状だ。市内を走る路面電車の側面いっぱいが、HCLのプレーヤーの顔が大写しされたポスターになっているほどだ。

スポーツ学部内のメーンスポーツホールでおこなわれるこの大会は、十数年前からの伝統行事となっている。主催はスポーツ学部、HCL、ライプチヒ市教育局で、市内の大手デパートがスポンサー。朝、10時前に行ってみる。すでにそこには、市内と近郊の学校またはクラブから６～９歳のプレーヤー計24チームが両親や指導者に付き添われて集合しており、会場内は子供たちがあちこち走り回り、会場外のロビーには、軽食・喫茶のコーナーが設けられ、すでに大人数人が隅のほうでビールを片手に懇談している。恐らく、ＨＣＬの熱狂的サポーターに違いない。選手総数250人で、父母や指導者などを合わせると、合計600人ほどの規模の大会だ。会場内の横に、くじ引きコーナーがあり、HCLやデーリッチのユニフォームなどさまざまなスポーツグッズがうず高く並べられている。これら当りくじ用の商品はすべてメーカーや各クラブ、デパートから寄付されたもので、１回20セント（約30円）でハズレなし。このコーナーは主婦数人の市民グループが十数年前から行なっているUNICEF協力活動で、収益金はアフリカ西部ガンビアの学校建設資金に当てられる。２年前に最初の学校が建設され、その写真が展示されていた。ちなみにハンドボールに関して、当スポーツ学部は、旧東独時代から毎年、アフリカや東南アジアなどのハンドボール普及のために、無料の国際指導者養成講座を開催している。だから、この大会のゲーム審判はそのアフリカ留学生たちが担っている。サンタの赤い衣装を身にまとって笛をふく姿は、ユーモラスで子供たちにとても好評だ。会場の奥には、さまざまな道具を使った遊び場のスペースが設けられ、ゲーム出場の合間に子供たちが退屈しないように配慮されている。ここのスペースを運営しているのはスポーツマネジメント学科の学生たちだ。試合は、会場に４つのミニコートを設け、１チーム約10名で、プレーヤーは５名(男女混合)。使用するボールは、スポンジをコーティングしたミニボールなので、怖がってプレーしている選手はまったく見受けられない。突き指などもまったく心配ない一日本

オープニング：観客席には父母や指導者など

ゲームスタート前：手前は遊び場、審判はサンタの衣装を着た留学生

ではゴム製ミニボールらしいが、痛くないのだろうか。そして、ルール上もっとも厳しい点はフェアプレーであること、そして、プレーの自由な展開を保証することだ。

11時半ごろ、ゲームが一時中断。サイン会だ。登場してきたのは、女子ハンドボールのHCLプレーヤーと男子ハンドボールのコンコルディア・デーリッチのプレーヤー。各プレーヤーそれぞれ、自分のハガキ大のブロマイドを手にし、サインして渡している。もちろん、ファンから「シン」と呼ばれているデーリッチの人気選手、植松伸之介くんも慣れた手つきでブロマイドにサインして子供たちに渡していた。ただし、1部リーグトップのHCLと、かたや2部（でも上位チーム）のデーリッチとでは、サインの人だかりに差があるのはしょうがない。ゲーム

植松選手のサイン風景
（後ろはチームメイト）

再開を潮時に、私は会場を出た。とても良い経験だった。このような伝統はドイツでもごく希のことだと、ある関係者が語っていた。ジュニアやユースの選手育成に一貫してもっとも努力しているのも、ライプチヒだということを言っていた。たしかに、HCLの各年齢別チームは毎年、全国1位か2位の成績だ。だから、既述のスポーツギムナジウムには、ドイツ全土から、トップ指向の選手たちが入学を申し込んでくる。しかも、HCLのヘッドコーチもサブコーチも、当校のスポーツ教員を兼ねているから、なお更のことだ。

ちなみに、サブコーチのホルツ氏は、ジュニア全体のヘッドコーチでもある。昨年8月、かながわクラブの女子チーム「ガビアーノ」が、HCLの受け入れでライプチヒに滞在合宿した折、ホルツ氏にトレーニング指導をしていただく機会があった。ディフェンスを中心にというチームからの希望を伝えると、かれは即座に、「それでは、3・1・2でいこう」と言う。このフォーメーションはなんでも、ユーゴスラビアが始めた3・2・1からヒントを得たらしい。「このフォーメーションは、とくにジュニアにとって大切だ」。その理由は、柔軟で学習能力が高く、吸収が早い年少のうちにこのような超攻撃的フォーメーションを習熟しておけば、6・0や5・1は難なくこなすことが出来るし、一人ひとりが頭をフル回転して集中して連携しなければならないから大変有効だというのである。まさに、逆の発想である。当然、最初は失敗やミスは多い。「でも、成功は、失敗をどれくらい経験し、どれだけ失敗から学んでいるかに比例して確実になる」。「とくに1対1に強くなる」と言う。話はサッカーにそれるが、ドイツが組織中心、ブラジルは個人中心としてよく比較されているが、「1対1の強さぬきに組織的な強さは考えられない。だから、トレーニングでは個別指導が不可欠だ」と関係者に言われたことを思い出す。

ゲーム：左手は観客席、奥は遊び場スペース

じつは、現在、かながわクラブ（代表：三辻　訓）が窓口になり、6月下旬から7月初旬にかけてホルツ氏を日本に呼び、既述のテーマを中心に実技講習会などを開催しようと準備をはじめている。とくにコーチングに携わる人にとっては、またとない機会である。受け入れや参加など、関心のある方は直ぐにでも問い合わせしていただければ、と思います。

【問合せ先】

三辻　訓（かながわクラブ代表）
〒221―0812
横浜市神奈川区平川町19―2
県立神奈川総合高校内
TEL：045-491-2000
FAX：045-491-3190
E-mail：mtj@corso―b. net

第29回通常総会サンクトペテルブルグで開催

93の加盟国から250名が参加したＩＨＦ第29回通常総会は、11月21日から23日に、サンクトペテルブルグ(ロシア)のホテルプリバルティスカヤで開催された。議題のうち、特に2005年の各世界選手権開催授与が焦点となった。

⊙男子チュニジア、女子ロシア

男子世界選手権大会は、チュニジアがドイツの44票に対し46票を獲得して開催地に決定。ノルウェー、ルーマニア、ロシアは事前に立候補を辞退していた。女子はロシアが65票を獲得、中国（15票)、ルーマニア（10票）に大差をつけて世界選手権を開催することになった。コートジボワールとノルウェーは事前に辞退。

男子ジュニア世界選手権は、ハンガリー（56票に対しノルウェー33票)、女子ジュニアはチェコ共和国(47票に対しスロベニア41票）に決定した。また、ブラジルも立候補していたが票は入らなかった。

⊙2004年ＩＨＦ総会はエジプトで

次の第30回ＩＨＦ通常総会は2004年11月エジプトで開催することになった。エジプト53票、ルクセンブルグ28票、オーストラリア５票、マカオ３票の投票結果によるもの。

⊙加盟連盟150に

サンクトペテルブルグ総会で、レソト、セイシェル、ザンビア（すべてアフリカ）とベトナム（アジア）の加盟が承認された結果、正式加盟メンバーの数は150に達した。大陸別には、アフリカ47、アジア33、ヨーロッパ46、オセアニア５、パンアメリカ19と広がっている。

⊙構造改革は延期

評議員会が意図し総会に提出した構造改革は、サンクトペテルブルグでは投票に至らず、2003年11月スイスで開催されるであろう臨時総会の議案に載せられることになった。新しい内規が採用されれば、修正後の組織は予定通り2004年総会から発効する。

⊙連盟およびパートナー表彰

国際レベルのハンドボールスポーツに多大な貢献があったことが認められ、ハンドボール・ユニオン・オブ・ロシアにハンス・バウマン杯が与えられた。同杯は、初代ＩＨＦ会長を顕彰して２年毎に特別貢献を対象に送られる。総会ではその他の表彰も行われた。

2003年男子世界選手権速報

予選リーグ

♣Aグループ

TUN－KUW　29－20（16－10）
YUG－POL　24－20（12－９）
ESP－MAR　23－18（13－８）
KUW－YUG　16－36（３－20）
MAR－TUN　24－28（15－14）
POL－ESP　25－34（16－17）
MAR－KUW　22－25（９－11）
TUN－POL　22－24（11－11）
ESP－YUG　22－20（12－９）
ESP－KUW　45－18（24－８）
YUG－TUN　28－27（20－10）
POL－MAR　35－29（17－12）
TUN－ESP　25－33（13－18）
YUG－MAR　34－20（17－９）
KUW－POL　21－36（10－15）

１位：ESP５勝　２位：YUG４勝１敗
３位：POL３勝２敗　４位：TUN2勝３敗
５位：KUW１勝４敗　６位：MAR５敗

♣Bグループ

GER－QAT　45－17（23－８）
ISL－AUS　55－15（23－６）
POR－GRL　34－19（20－８）
AUS－GER　16－46（６－24）
GRL－ISL　17－30（８－16）
QAT－POR　21－31（10－15）
GER－GRL　34－20（20－11）
AUS－QAT　23－28（10－14）
ISL－POR　29－28（14－13）
POR－GER　29－37（15－19）
ISL－QAT　42－22（24－９）
GRL－AUS　21－26（12－12）
GER－ISL　34－29（20－16）
POR－AUS　42－20（22－11）
QAT－GRL　28－23（15－８）

１位：GER５勝　２位：ISL４勝１敗
３位：POR３勝２敗　４位：QAT２勝３敗
５位：AUS１勝４敗　６位：GRL５敗

♣Cグループ

RUS－HUN　31－30（15－14）
COR－ARG　29－30（18－13）
FRA－KSA　30－23（14－10）
ARG－RUS　26－26（11－15）
KSA－CRO　18－25（10－８）
HUN－FRA　24－29（10－18）
RUS－CRO　26－28（10－12）
HUN－KSA　36－25（22－12）
FRA－ARG　35－18（14－６）

ARG－HUN　23－35（15－15）
CRO－FRA　23－22（11－10）
RUS－KSA　34－17（19－8）
CRO－HUN　30－29（16－13）
KSA－ARG　31－30（14－14）
FRA－RUS　31－15（15－6）
1位：FRA 4勝1敗　2位：CRO 4勝1敗
3位：RUS 2勝1分け2敗　4位：HUN 2勝3敗
5位：ARG 1勝1分け3敗　6位：KSA 1勝4敗

♣Dグループ
ALG－BRA　22－22（10－11）
SWE－EGY　29－23（14－13）
DEN－SLO　33－24（17－10）
EGY－ALG　25－25（13－13）
SLO－SWE　29－25（14－12）
BRA－DEN　24－28（10－11）
SLO－EGY　26－27（14－13）
SWE－BRA　29－21（12－12）
DEN－ALG　22－19（9－13）
ALG－SWE　28－32（12－17）
BRA－SLO　27－30（10－15）
DEN－EGY　35－26（18－12）
SWE－DEN　32－28（19－14）
EGY－BRA　31－24（17－11）
ALG－SLO　25－35（13－16）
1位：DEN 4勝1敗　2位SWE 4勝1敗
3位：SLO 3勝2敗　4位：EGY 2勝1分け2敗
5位：ALG 2分け3敗　6位：1分け4敗

準決勝リーグ（予選リーグの結果を適用）
◆グループⅠ
ISL－POL　33－29（14－17）
ESP－QAT　40－15（20－6）
POL－QAT　35－26（18－11）
ESP－ISL　32－31（18－18）

	試合数	勝ち	分け	負け	総得点	総失点	勝ち点
ESP	3	3	0	0	106	71	6
ISL	3	2	0	1	106	83	4
POL	3	1	0	2	89	93	2
QAT	3	0	0	3	63	117	0

◆グループⅡ
GER－TUN　30－21（14－13）
YUG－POR　30－28（18－7）
GER－YUG　31－31（15－16）
POR－TUN　27－26（14－12）

	試合数	勝ち	分け	負け	総得点	総失点	勝ち点
GER	3	2	1	0	98	81	5
YUG	3	2	1	0	89	86	5
POR	3	1	0	2	84	93	2
TUN	3	0	0	3	74	85	0

◆グループⅢ
CRO－EGY　29－23（13－11）
DEN－RUS　28－35（16－16）
RUS－EGY　29－22（12－11）
CRO－DEN　33－27（19－11）

	試合数	勝ち	分け	負け	総得点	総失点	勝ち点
CRO	3	3	0	0	90	76	6
RUS	3	2	0	1	90	78	4
DEN	3	1	0	2	90	96	2
EGY	3	0	0	3	71	93	0

◆グループⅣ
SWE－HUN　33－32（17－17）
FRA－SLO　31－22（14－11）
SWE－FRA　24－30（15－11）
SLO－HUN　25－28（10－13）

	試合数	勝ち	分け	負け	総得点	総失点	勝ち点
FRA	3	3	0	0	90	70	6
HUN	3	1	0	2	84	87	2
SLO	3	1	0	2	76	84	2
SWE	3	1	0	2	82	91	2

準　決　勝
ISL－RUS　27－30（12－13）
YUG－HUN　33－34（12－11）
GER－FRA　23－22（11－10）
ESP－CRO　37－39（14－9）
7位決定戦　ISL－YUG　32－27（16－13）
5位決定戦　RUS－HUN　30－25（16－11）
3位決定戦　FRA－ESP　27－22（16－11）
決　勝　戦　GER－CRO　31－34（20－18）

この結果、7位のアイスランドまでがアテネオリンピックの出場権を得た。

＊各国の略号は以下の通り	
ALG：アルジェリア	ISL：アイスランド
ARG：アルゼンチン	KUW：クウェート
AUS：オーストラリア	MAR：モロッコ
BRA：ブラジル	POL：ポーランド
CRO：クロアチア	POR：ポルトガル
DEN：デンマーク	QAT：カタール
EGY：エジプト	RUS：ロシア
ESP：スペイン	KSA：サウジアラビア
FRA：フランス	SLO：スロベニア
GER：ドイツ	SWE：スウェーデン
HUN：ハンガリー	TUN：チュニジア
	YUG：ユーゴスラビア

がんばれハンドボール10万人会

サポート会特別会員

大阪ハンドボール協会顧問
大阪市ハンドボール連盟会長

山田　稔

元松山商科大学教授
元日本ハンドボール協会理事
元全国高等学校ハンドボール部常任委員
元四国ハンドボール協会理事長
元愛媛県ハンドボール協会理事長
平成十四年　勲四等瑞宝章受章

松山市石手3丁目6番20号
越智　武
☎089−977−1648

北海道

山辺文彰

私たちはハンドボール競技を応援しています

平成14年9月にハンドボールコート（20m×40m）2面とれる体育館（吉備路アリーナ）が完成しました。皆様ぜひ総社へお越し下さい。

総社市ハンドボール協会理事長
総社クラブジュニア監督

村木理英

（財）神奈川県体育協会副会長
神奈川県ハンドボール協会会長

斎藤達也

〒220−0041
横浜市西区戸部本町四−八
☎045−324−1221

塩川安賢

〒143−0024
大田区中央三−十三−十一

スポーツイベントよりご案内

トレーニング読本

ハンドボール練習法250
ドイツハンドボール協会技術委員会編
土井秀和・水上一・笹倉清則共訳
A5版・312ページ
2,500円（税・送料込み）

●ハンドボールの本場、王国として名高いドイツで生まれた必見の一冊。実戦に役立つハンドボール練習法を250パターン以上も紹介。

勝利へのパワートレーニング
山崎正利・鈴木正之著
A5版・232ページ
2,600円（税・送料込み）

●障害を予防するための筋力アップを含めてハンドボーラーのためのパワーアップトレーニングを、写真やイラスト、図を多く取り入れて分かりやすく解説。

2冊セット価格　5,100円のところ→**4,500円**

テクニカルハンドブック

日本初のＧＫ技術書

ゴールの鉄人　山崎正利著
●初めて刊行されたゴールキーパーだけのテクニックを論じた書。すべてのシュートに対する基本動作から駆け引きに至るまで、豊富な連続写真を使って分かりやすく解説。

B6版・120ページ　**1,300円**
（税・送料込み）

「パストレーニング145」

パスの達人　山崎正利・瀧本明弘共著
●基本的なパス・トレーニングに始まり、セットオフェンス、速攻のトレーニングへと展開。毎日のトレーニングがマンネリ化しがちなチームにとって、まさに福音の書。

B6版・160ページ　**1,500円**
（税・送料込み）

◆ご注意◆トレーニング読本シリーズ、テクニカル・ハンドブックシリーズとも書店ではお求めになれません。直接当社へご注文ください。

「一秒一生」
ゼロからの日本一
横浜商工高校ハンドボール監督　渡辺靖弘の挑戦
B6版・240ページ
2,500円（税・送料込み）
発行・（株）スポーツイベント
発売・（株）グローバル教育出版
（ISBN4-901524-99-2 C0037）

「一秒一生」は書店でもお取り寄せできます。

スポーツイベント・ハンドボール
毎月20日・全国書店にて発売中！

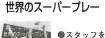
月刊誌 **スポーツイベントハンドボール**
定価800円（本体762円）　年間購読 9,600円
〒101-0047 千代田区内神田2-4-2 グローバルビル4F
FAX03-3253-5948／郵便振替・00140-5-11951

☆スポーツイベントからのお知らせ☆
スポーツイベントのホームページを開設しました。
アドレス
http://www.sportsevent.jp

スポーツイベントのハンドボール技術ビデオシリーズ

金メダルへのトレーニング
●韓国ナショナルチームを率いた鄭亨均氏が、そのトレーニングのすべてをあますことなく公開する

全10巻　80,000円
各巻 **8,000円**（消費税別）

世界のスーパープレー
●スタッフを本場ドイツに派遣、ビデオで「世界のスーパープレー」を独占特撮！

全６巻　50,000円
各巻 **8,500円**（消費税別）

高野亮のシステムハンドボール
●噂のシステム、独特のコンビプレーの作り方などを初公開

全８巻　72,000円
各巻 **9,000円**（消費税別）

「これでチームが強くなる」ビデオ版
●240種類の目的別トレーニングを一挙に公開

全６巻　54,000円
各巻 **9,000円**（消費税別）

●全ビデオシリーズはバラ売りも受け付けます（税別／送料は何本でも５００円）。
●現金書留、郵便振替、銀行振込による前金制です。
●代引き発送（納品時に料金と引き換え）が最も早くお手元にお届けします（計３巻以下の代引き発送は別途500円を申し受けます）。
●学校予算の場合は先納もＯＫ！ご相談ください。
●書店でのご注文はできません。

お申し込み方法

郵便振替によるお申し込み
郵便局備え付けの振替用紙をご利用下さい。
各記入欄に以下の通りご記入下さい。

口座番号	00140-5-11951
加入者名	（株）スポーツイベント
通信欄	ご希望商品名 （例:ハンドボール1年分・ハンドボール練習法250-1冊）
金額	ご希望商品の金額 （例:12100）
払込人住所氏名	お客様のご連絡先とご氏名

記入例

※ご入金が確認でき次第の発送となりますので、お手元に商品が届くまでは1週間ほどかかります。

迫力の写真を一生の記念に！

◎本誌掲載写真の注文承ります
5000円（消費税込み・送料別）
額入り（写真サイズは4切ワイド）
ご希望の方は当社へお電話でお申し込みください
本誌に掲載されてない写真もありますので電話にてご相談ください

◆お願い◆
当社の電話取次時間は月曜から金曜までの午前9時30分から午後5時30分までとなります。平日の上記以外の時間及び、試合などの多い土曜、日曜は充分な対応ができません。書籍、ビデオなどに関するご注文、お問い合わせは、上記時間内にお願いいたします。

がんばれハンドボール10万人会「サポート会員」1月入会・継続会員

【山形】土屋千津子【千葉】泉水孝浩、泉水庸子、泉水勇人、泉水　昭、泉水よね【神奈川】堂前良幸、堂前由紀子【山梨】小沢三紀夫【愛知】横地成典、山下恵美子、小山俶江、山本智子、森本雅良、西村香代子、蒲生　美、蒲生庄吾、川島祥子、山内浩子、宮田博明【三重】細野健一郎、細野美紀子、北村元勝、川岸光男、小川　信【京都】石井惇史【大阪】長嶺利昭【愛媛】正岡勝英【福岡】福田英明【熊本】津田　修

【3月の行事予定】

［大会］

第27回日本リーグプレーオフ／
21日㈮～23日㈰　東京・駒沢・ＴＶＫ録画
第26回高校選抜／23日㈰～28日㈮　富山県氷見市

［会議］

常務理事会：８日㈯／東京
コーチシンポジウム：７日㈮～９日㈰／熊本県山鹿市

ＴＶＫ（テレビ神奈川）録画放映

平成15年３月22日㈯
19：00～20：25　男子準決勝
20：25～21：25　女子決勝
平成15年３月23日㈰
20：25～21：50　男子決勝

HAND BALL CONTENTS Mar

（登録チームの購読料は登録料に含む）

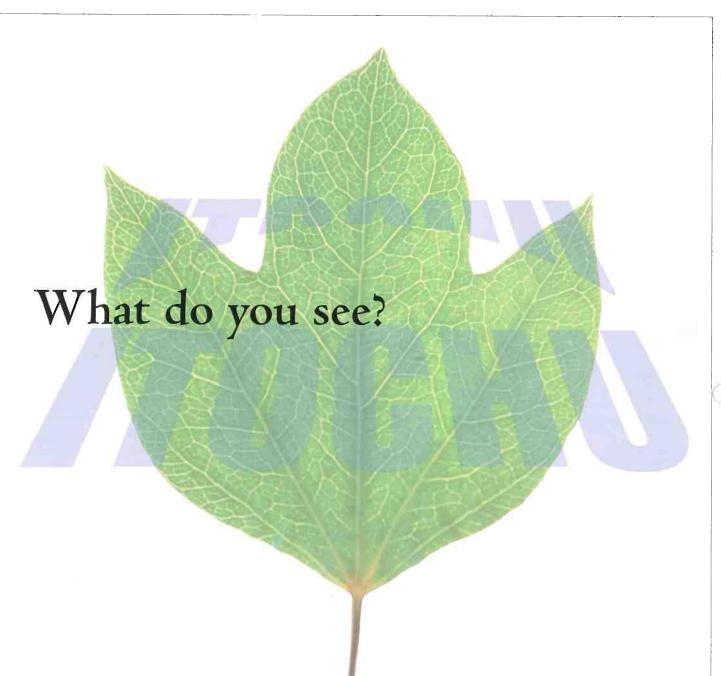
2002コートの主役

PKCH3-AD　¥4,600

検定球3号、アデランテ、手縫い
国際公認球、一般・大学・高校・男子用　パ
天然皮革

PKCH2-AD　¥4,500 パ

検定球2号、アデランテ、手縫い
国際公認球、一般・大学・高校・女子用・中学校用
天然皮革

What do you see?

透き通った葉の向こうに
「ITOCHU」が見えますか？
私たちは、
企業としての透明性を大切にしています。

伊藤忠商事株式会社
http://www.itochu.co.jp

(財)日本ハンドボール協会編『ハンドボール』第四三八号
昭和四十年六月七日 第三種郵便物認可
平成十五年二月二十六日印刷 平成十五年三月一日発行
東京都渋谷区神南一—一—一
電話 代表 三四八一—二三六一
振替 〇二〇—七—〇二九三
編集兼発行人 大西武三
定価 年間三三〇〇円